

# ネウボラセンターの設置等「福山ネウボラ」の 強化に向けた調査研究業務報告書

# 目次

---

## 1. ネウボラセンターに設置する機能の調査・研究

---

(1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握 P.1

---

(2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例収集 P.12

---

## 2. 分析結果 P.27

---

## 3. コンセプト案 P.29

---

## 4. 今後の展望 P.43

---

### (検討手順)

➤ 本業務においては、福山市において設置が見込まれるネウボラセンターに「設置することが望ましい機能」について、以下の手順で整理・検討を行った。（①については、福山市が実施した既存調査の結果をもとに実施）

- ① ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握
- ② ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている11自治体の事例収集
- ③ ①②を踏まえた、ネウボラセンターに設置することが望ましいと考えられる機能の分析・整理
- ④ ③を踏まえた、ネウボラセンターのコンセプト案（コンセプト・設置候補地・特徴的な機能）の整理

➤ ネウボラセンターの設置手法の整理にあたっては、メリット・デメリットも含めて案を複数作成するとともに、今後の展望としてどのような対応が望ましいと考えられるかについて整理し、提案を行った。

# **1    ネウボラセンターに設置する機能の調査・研究**

## **1    ( 1 )   ネウボラセンターに対する              市民のニーズ把握**

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

## ニーズ把握の全体概要

- 福山市で実施された4つの既存調査の結果を分析し、新しく設置されるネウボラセンターに対する市民のニーズを把握した
- その結果、市民のニーズとして、①相談・解決、②居場所、③交流の場、④情報発信の4つに関する内容が多くみられた

| 調査名                    | 調査対象                        | 調査結果                                                                                | 該当スライド |
|------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| こども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査 | 就学前児童を持つ保護者<br>小学生の児童を持つ保護者 | ➤ 相談が直接的な解決につながる支援を求めている<br>➤ 施設に関連する情報の積極的な発信が必要である                                | P.3    |
| こどもの生活に関する実態調査         | 小学5年生とその保護者<br>中学2年生とその保護者  | ➤ (小学生) 家庭や学校外で安心して過ごせる場所や多様な活動機会の提供ニーズが高い<br>➤ (中学生) 将来社会で活躍できる力を身に着けることへの支援ニーズが高い | P.4    |
| こども・若者世代実態調査           | 15歳～39歳の市民                  | ➤ SNSを活用した情報提供が有効であると考えられる<br>➤ 子育てをする親同士の交流の機会の提供が必要である                            | P.5    |
| こどもの窓口に関する中核市調査        | 中核市に位置付けられる<br>59自治体        | ➤ 中核市ではワンストップ窓口を設置している自治体は17自治体のみである<br>➤ こども・若者の居場所づくりの必要性は高いと考えられる                | P.6～11 |

既存調査から  
市民のニーズが  
高いと推察される機能

1

相談・解決

2

居場所

3

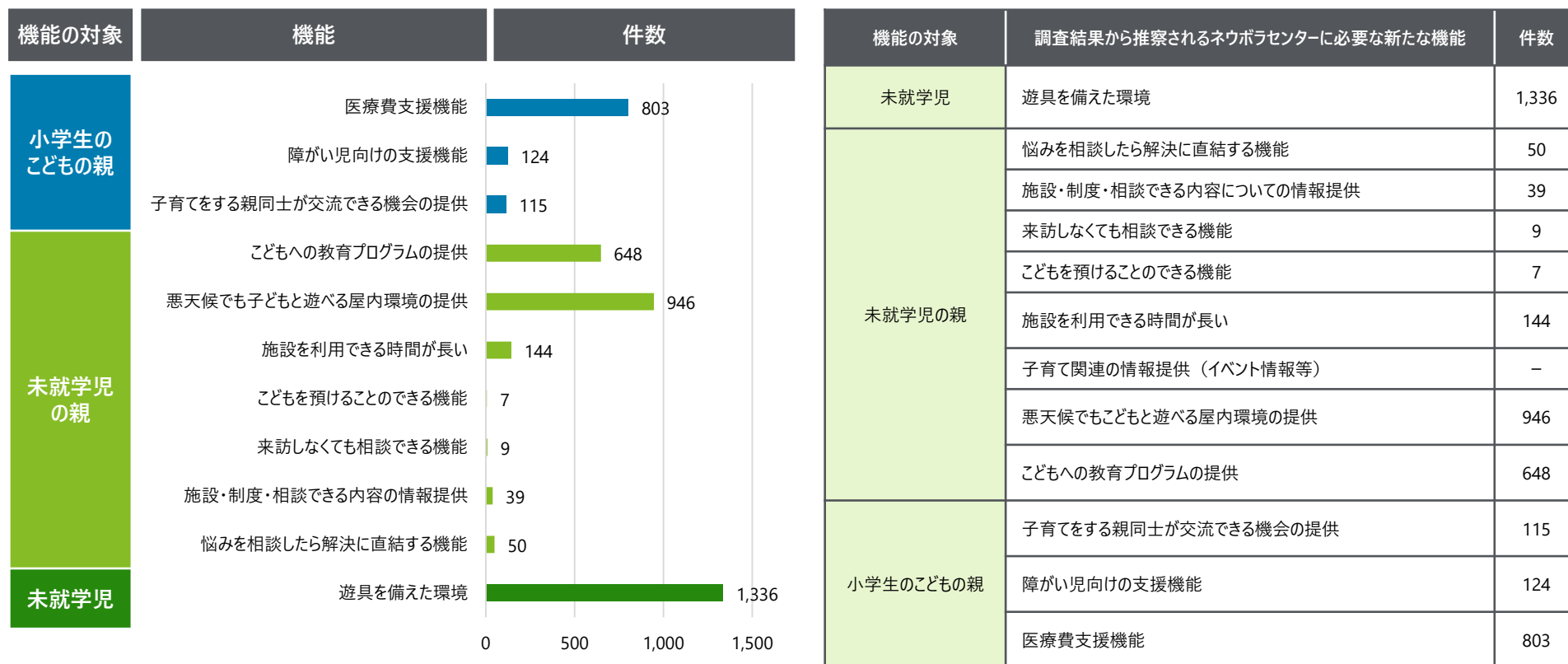
交流の場

4

情報発信

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

## 既存調査の分析結果（こども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査）



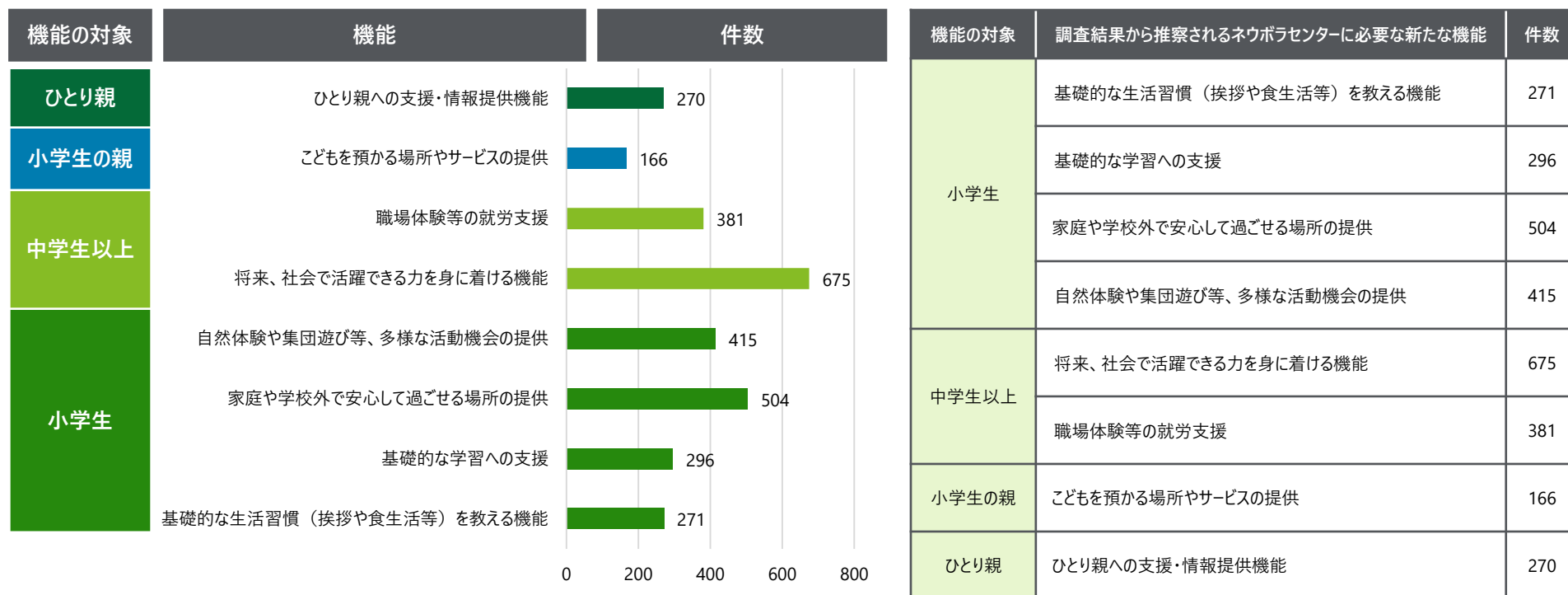
※表の件数については、調査の質問項目の回答数を示しており、各回答から読み取れるニーズを新たな機能として記載している

例：ネウボラ相談窓口を利用しない理由として、「相談しても解決しない」という回答が50件あり、「悩みを相談したら解決につながる効果的な支援」がニーズとしてあると分析した

- 「相談しても解決しない」と考える親が一定数おり、新たに設置するネウボラセンターでは効果的な支援を提供することが重要である
- これまでは、窓口で相談できる内容がわからないといった意見が一定数見受けられたため、施設に関する情報等を積極的に発信していく必要がある
- 小さいこどもを持つ親は、家庭外でこどもを安全に遊ばせることのできる施設を必要としている
- 未就学児の親も、こどもへの教育支援を求めている傾向があると推察されるため、子育てに関連し、教育面での支援にも取り組む余地がある

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

## 既存調査の分析結果（こどもの生活に関する実態調査）

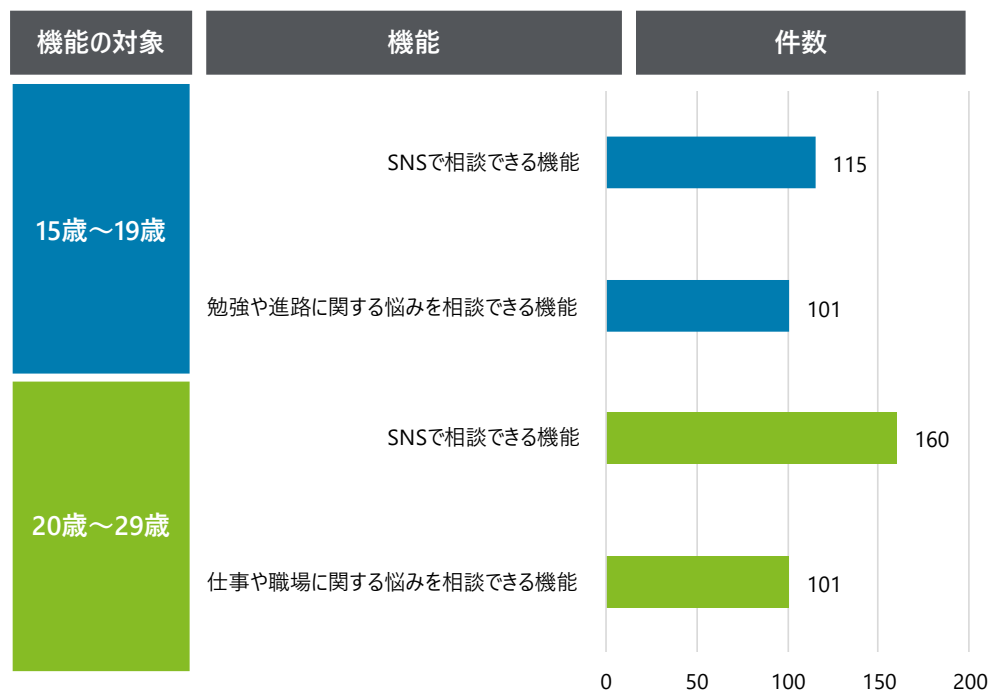


※表の件数については、「こどものことについて、悩んでいること」や「広島県や福山市のこども政策への希望」に関する質問項目の回答数を記載している

- 小学生・中学生を子に持つ親は、生活習慣や学習といった将来、社会で生活していくうえで必要となるスキルを身に着けるための支援を必要としており、今後ネウボラ施策を推進していくうえで、教育面の支援にも注力していく余地があると考えられる
- 金銭的にも負担が大きいと考えられるひとり親への支援のニーズが高く、支援及び支援に関する情報の提供を行うことが重要である

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

## 既存調査の分析結果（こども・若者世代実態調査）



| 機能の対象            | 調査結果から推察されるネウボラセンターに必要な新たな機能 | 件数  |
|------------------|------------------------------|-----|
| 15歳～19歳          | 勉強や進路に関する悩みを相談できる機能          | 101 |
|                  | SNSで相談できる機能                  | 115 |
| 20歳～29歳          | 仕事や職場に関する悩みを相談できる機能          | 101 |
|                  | SNSで相談できる機能                  | 160 |
| 全年代<br>(15歳～39歳) | 悩みを相談したら解決に直結する機能            | －   |
|                  | アクセスしやすい場所に位置している            | －   |
|                  | 落ち着いてくつろげる環境の提供              | －   |
|                  | 自習等勉強・作業ができるスペースの提供          | －   |
|                  | 天気に影響されず、こどもが楽しめる無料の空間の提供    | －   |
|                  | 若い母親向けに子育てをテーマにした交流会を開催する機能  | －   |
|                  | ボランティアのような活動の場を提供できる機能       | －   |
|                  | SNSを利用した、施設で開催するイベント等の情報発信   | －   |

※件数については、設問「悩みごとや心配ごと」、「相談しやすい方法」の各選択肢への回答数を記載している

※機能の対象が全年代（15歳～39歳）となっているものについては、自由記述回答からキーワードをベースに抽出し整理したことから、正確な件数は不明であり、記載していない

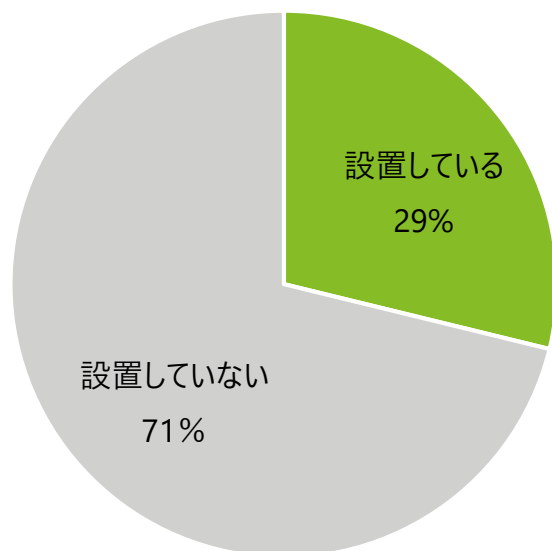
- こども・若者への調査では、SNSを利用した機能についての意見が多く見受けられたため、情報へのアクセスという観点について、誰もが気軽にネウボラセンターに関する情報を取得できる対策が重要である
- 年齢が若い親は、同じ年代の親同士で交流できる機会を求めており、子育てに関する悩み等を話し合える環境を提供することが有用であると考えられる
- 他調査と同様に自身の悩みが解決する効果的な支援を求める意見が多く、支援の水準を高める必要がある

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

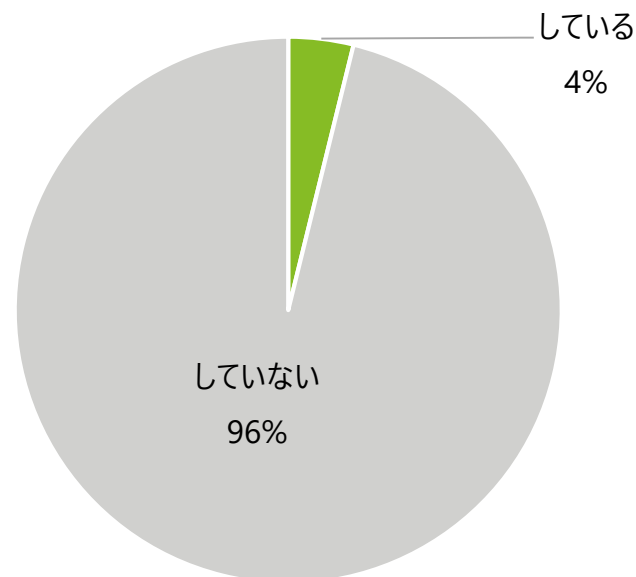
## 既存調査の分析結果（こどもの窓口に関する中核市調査）

### ワンストップ窓口について

こども（18歳以下）に関するワンストップ窓口を  
設置していますか（N = 59）



若者に関するワンストップ窓口を  
設置していますか（N = 52）



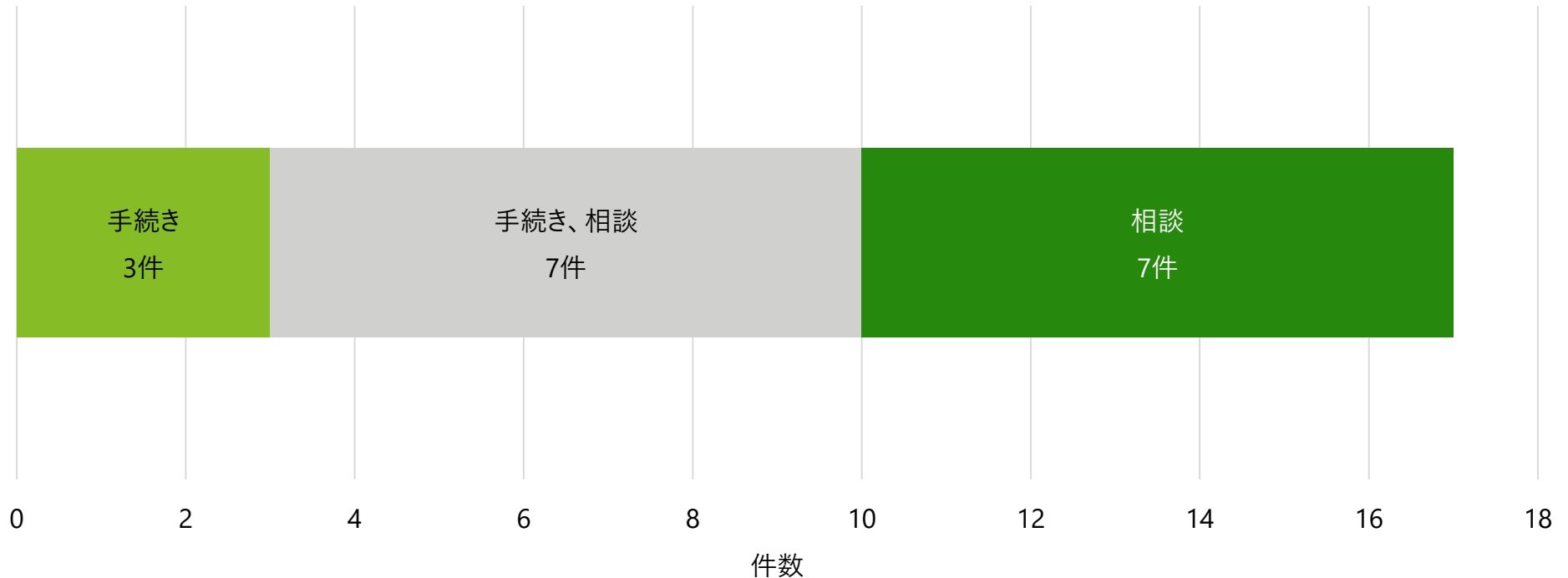
- 中核市のワンストップ窓口設置について、こどもに関するワンストップ窓口は若者に関するワンストップ窓口より多く設置されている
- 約29%の中核市はこどもに関するワンストップ窓口を設置した一方、若者に関するワンストップ窓口を設置した中核市は約4%しかない

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

## 既存調査の分析結果（こどもの窓口に関する中核市調査）

### ワンストップ窓口について

どのような機能がワンストップ窓口に入っていますか（N=17）



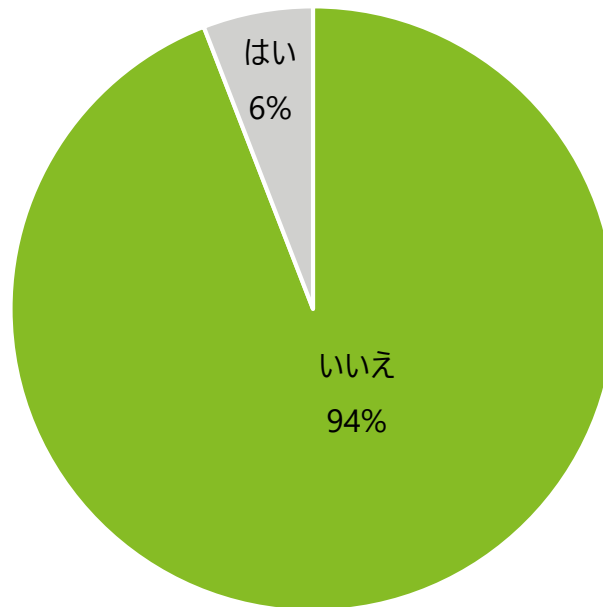
➤ 中核市のワンストップ窓口の機能について、手続きと相談機能両方持っている中核市は7件、相談機能が持っている中核市は14件、手続きを持っている中核市は10件であり、ワンストップ窓口における相談機能が必要であると考えられる

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

既存調査の分析結果（こどもの窓口に関する中核市調査）

ワンストップ窓口について

ワンストップ窓口はワンフロアですか（N=17）



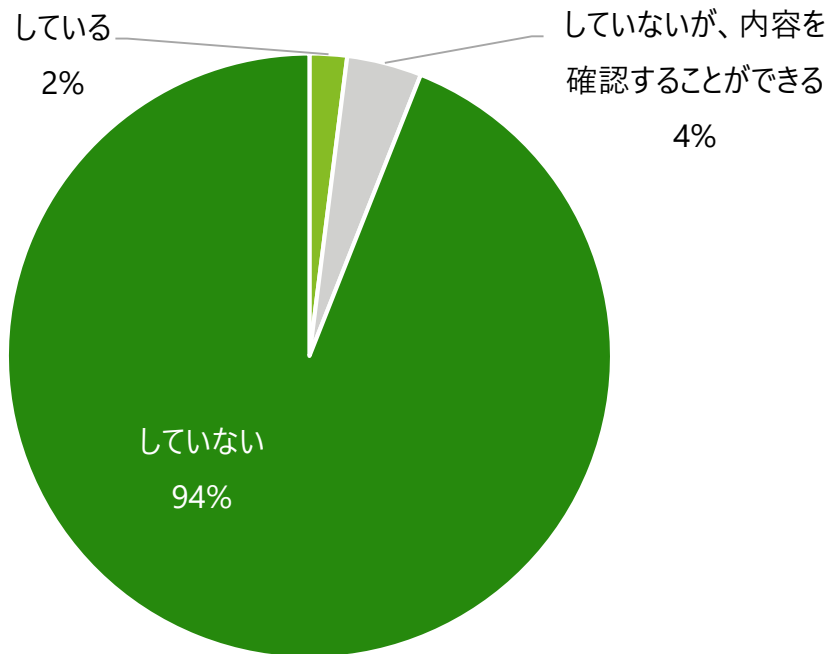
➤ 約94%の中核市のワンストップ窓口はワンフロアではなく、複数の階で窓口を分けている

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

## 既存調査の分析結果（こどもの窓口に関する中核市調査）

### ワンストップ窓口について

乳幼児期からの個人の成長記録や相談履歴を教育委員会とデータ連携していますか（N＝50）



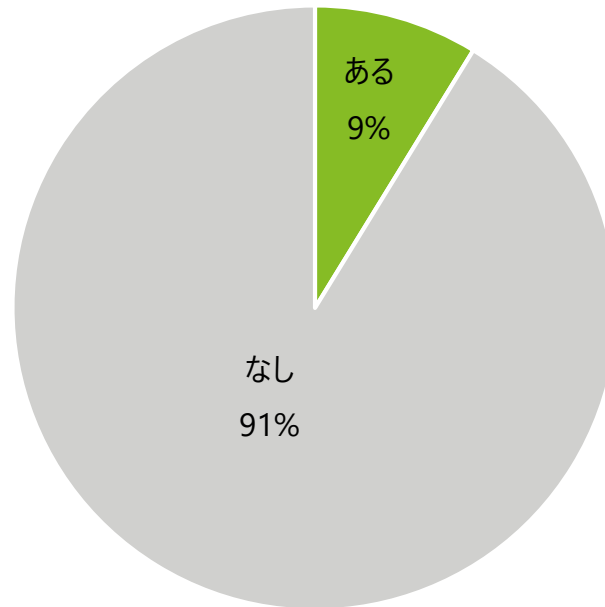
➤ 個人の成長記録や相談履歴を教育委員会と連携している中核市は2%しかなく、多くの中核市は教育委員会とデータ連携が薄いと推察される

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

## 既存調査の分析結果（こどもの窓口に関する中核市調査）

### 子育てに関する複合施設について

ワンストップ窓口が入った子育てに関する中核的な施設がありますか（N = 57）



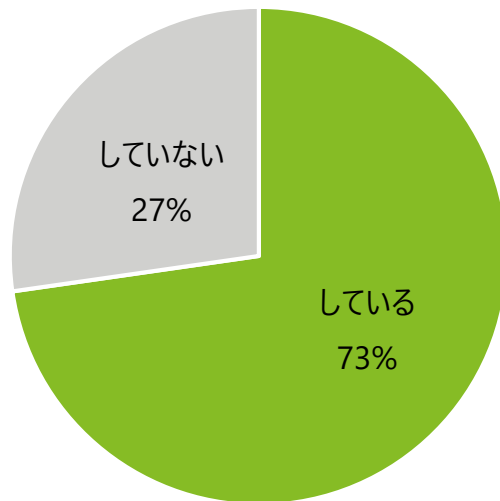
- ワンストップ窓口が入った子育てに関する施設について、「ある」という回答した中核市は約9%であり、現時点ではワンストップ窓口の設置は主流ではない様子が伺える

# 1 (1) ネウボラセンターに対する市民のニーズ把握

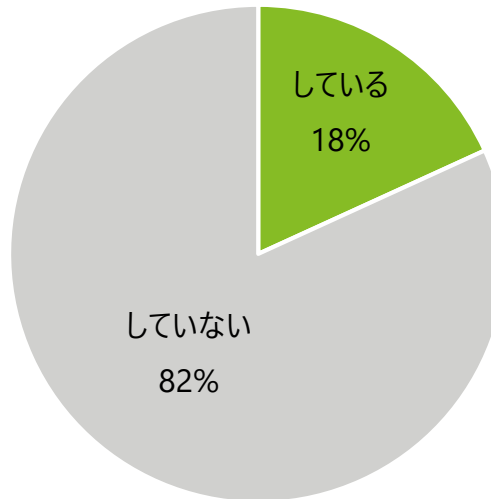
## 既存調査の分析結果（こどもの窓口に関する中核市調査）

### 子育てに関する複合施設について

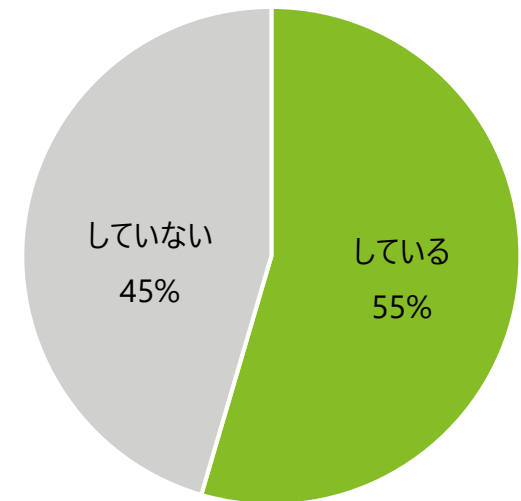
屋内遊戯場（遊具を備えた専用スペース）を設置していますか（N=11）



若者の居場所（自習室・休憩スペース・カフェ等）を設置していますか（N=11）



多目的室（会議室）を設置していますか（N=11）



- 中核市の複合施設の設置状況について、屋内遊戯場の設置率が73%で一番高く、次は多目的室（会議室）55%で、若者の居場所（自習室など）の設置率は18%で一番低いため、若者の居場所づくりの必要性があると考えられる

# **1 （２） ネウボラセンターとして先進的な 取組を行っている自治体の事例収集**

# 1（2）ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## 先進事例調査の全体概要

- ネウボラセンターに関する11自治体の事例について、整備されている機能やメリット・デメリットを調査・整理した
- 調査から、屋内でも子どもが遊べる環境の整備や利用者へのスムーズな対応、誰もが利用できる居場所としての機能については、福山市で新設されるネウボラセンターにおいても整備することが有用であると考えられる

| 自治体名      | 施設名                      | 調査結果（主な特徴）                                           | 該当スライド  |
|-----------|--------------------------|------------------------------------------------------|---------|
| 岐阜県岐阜市    | 子ども・若者総合支援センター「エルぎふ」     | 専門家が常駐し、子育てに関する相談に対してスムーズな対応が可能である                   | P.14    |
| 三重県伊勢市    | 伊勢市健康福祉ステーション            | アクセス面も良好で、複数のサービスを提供している                             | P.15    |
| 東京都日野市    | 日野市子ども包括支援センター「みらいく」     | カフェ等が併設しており、居場所としての機能を有している                          | P.16    |
| 大阪府箕面市    | らいとぴあ21（箕面市萱野中央人権文化センター） | 相談機能と手続き機能が分離している                                    | P.17    |
| 大阪府茨木市    | 茨木市文化・子育て複合施設おにクル        | 役所に隣接しているため、行政との連携がスムーズに行える                          | P.18~19 |
| 愛媛県今治市    | （仮称）<br>今治版ネウボラ拠点施設      | 相談機能と手続き機能のどちらも該当施設で有している                            | P.20~21 |
| 神奈川県横浜市   | 地区センターのプレイルーム（18区27館）    | 相談機能や育児支援を一部業者に委託しており、行政とのすみ分けが明確                    | P.22    |
| 京都府京都市西京区 | 親子のあそびば「らくさいきのひろば」       | 木製玩具が充実しており、子どもが安心して遊べる環境が整備されている                    | P.23    |
| 東京都荒川区    | ゆいの森あらかわ                 | 図書館から託児所まで整備されており、老若男女問わず利用できる                       | P.24    |
| 茨城県常陸大宮市  | 屋内こどもの遊び場<br>わくわくピサロの森   | ショッピングセンターに併設されており、天気の影響を受けず子どもを遊ばせることのできる環境が整備されている | P.25    |
| 東京都渋谷区    | coしぶや                    | アクセスが良好かつ、悪天候時でも子どもが遊べる環境が整備されている                    | P.26    |

# 1 (2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ①岐阜県岐阜市

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治体名        | 岐阜県岐阜市                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 施設名         | 子ども・若者総合支援センター「エルぎふ」                                                                                                                                                                                                                                              |
| 場所          | 岐阜市明德町1番地（公共交通機関（岐阜バス）「ドリームシアター前」下車徒歩1分、「今沢町」下車徒歩5分）                                                                                                                                                                                                              |
| 開設時期        | 2013年4月                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 運営方法        | 行政主導                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 整備方法        | 改装                                                                                                                                                                                                                                                                |
| イニシャルコスト    | －                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 施設維持費       | －                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 補助金など       | －                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 開設～5年間の経費   | －                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 整備されているフロア  | 相談室、ふれあいルーム、カウンセリングルーム、待合室、連携ルーム、乳幼児診察室、自立支援教室                                                                                                                                                                                                                    |
| 整備している機能    | 乳幼児相談係(幼児の発達に関する相談・支援・検診・地域交流)<br>親子支援係(親子教室・個別相談)<br>乳幼児支援係(幼児支援教室の実施)<br>家庭児童相談係(児童虐待通告・相談)<br>発達支援係(学齢期の発達に関する相談・支援)<br>教育支援係(不登校児童、不登校児童生徒保護者への支援)<br>才能伸長・自立支援係(問題行動を起こす子供・若者に関する支援)<br>総合相談／専門アドバイザー／SSW(総合相談)<br>→子育て、子供の相談ダイヤル等、こども、青年期に関する総合窓口として機能している。 |
| 市役所本庁舎に残す機能 | 妊娠届出書・母子健康手帳の交付、保育園等の利用手続き                                                                                                                                                                                                                                        |

|         |     |                                                                                                                                                              |
|---------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政  | ・廃校をリノベーションしているため建設費等の削減につながる。<br>・専門家による支援を手早く提供することができる。                                                                                                   |
|         | 親   | ・子育ての悩みに関して総合窓口を通し適切なサービスがスムーズに利用できる。<br>・幼児、青年期の子供たちに手厚いサポートが受けられるため親子で長く通える。<br>・教員、スクールソーシャルワーカー等の専門家が多く配備されているため、専門的な立場から助言がもらえる。<br>・バス停からの距離も近く利用しやすい。 |
|         | こども | ・子供専門の窓口があるため家族に相談できない悩み等気軽に相談できる。<br>・教員、スクールソーシャルワーカー等の専門家が多く配備されているため、専門的な立場から助言がもらえる。<br>・家庭以外の居場所になりえる。<br>・バス停からの距離も近く利用しやすい。                          |
| デメリット   | 行政  | ・母子手帳交付は本庁でのみ                                                                                                                                                |
|         | 親   | ・母子手帳交付は本庁でのみ<br>・乳幼児の支援は他の施設と比べると手薄。                                                                                                                        |
|         | こども | ・遊び場がない。                                                                                                                                                     |
| グルーピング案 |     | ②エフピコリム案                                                                                                                                                     |
| 補足      |     | ・ほかの施設とは異なり乳幼児系の支援は手薄だが、それ以外が非常に充実している<br>・専門家が常時いるため専門的な相談もスムーズに対応できる                                                                                       |

➤ 乳幼児の支援が手薄だが、専門家が常時にいるため、子育てなどの相談はスムーズに対応できる

# 1 (2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ②三重県伊勢市

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治体名        | 三重県伊勢市                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 施設名         | 伊勢市健康福祉ステーション                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 場所          | 伊勢市宮後1丁目1番35号MiralSE内5・6・7階                                                                                                                                                                                                                                    |
| 開設時期        | 2023年                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 運営方法        | 行政主導                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 整備方法        | 新設                                                                                                                                                                                                                                                             |
| イニシャルコスト    | －                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 施設維持費       | －                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 補助金など       | －                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 開設～5年間の経費   | －                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 整備されているフロア  | こども発達支援室、中央保健センター、駅前子育て支援センターキッズ☆もっとテラス、駅前一時保育室、ママ☆ほっとテラス、福祉総合支援センターよりそい、障がい者基幹相談支援センター、遊び場                                                                                                                                                                    |
| 整備している機能    | こども発達支援室→こどもの発達に関する総合窓口、専門家との連携、サービスのコーディネート<br>中央保健センター→健康診査や健康教育、保健指導、予防接種などの保健サービス<br>駅前子育て支援センターキッズ☆もっとテラス→乳幼児と保護者が楽しめる交流ひろばと、子育て相談・講座、子育ての情報提供<br>駅前一時保育室→一時的保育（保育施設に入園していない児童限定）<br>ママ☆ほっとテラス→母子健康手帳の交付や妊娠・出産・母乳・育児に関する相談、情報提供<br>福祉総合支援センターよりそい→福祉の相談窓口 |
| 市役所本庁舎に残す機能 | 手続き機能                                                                                                                                                                                                                                                          |

|         |     |                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子手帳の交付が可能。</li> <li>・市中心部（駅周辺設備）での整備</li> <li>・百貨店跡に建設。</li> <li>・駐車場がある。（室内）</li> <li>・市役所から徒歩 10 分のアクセスの良さ。</li> </ul>                                                             |
|         | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子手帳の交付が可能。</li> <li>・市中心部（駅周辺設備）での整備</li> <li>・駐車場がある。（室内）</li> <li>・複数のサービスを同施設で享受できる。</li> <li>・子供のための遊び場がある。</li> <li>・市役所から徒歩 10 分のアクセスの良さ。</li> </ul>                           |
|         | こども | 遊び場がある。                                                                                                                                                                                                                       |
| デメリット   | 行政  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁で母子健康手帳の交付ができない。</li> <li>・手続き系は市役所に移動しなければならない。</li> <li>・建設費用がかかる</li> </ul>                                                                                                      |
|         | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁で母子健康手帳の交付ができない。</li> <li>・こどもの一時保育のサービスがあるが対象が保育園・幼稚園に入所しているこどもは対象外であり、時間も 16：30 と短い。</li> <li>・中高生向けのサービスがない。</li> <li>・手続き系は市役所に移動しなければならない。</li> <li>・中高生向けのサービスがない。</li> </ul> |
|         | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの一時保育のサービスがあるが対象が保育園・幼稚園に入所しているこどもは対象外であり、時間も 16：30 と短い。</li> <li>・中高生向けのサービスがない。</li> </ul>                                                                                       |
| グルーピング案 |     | ②エフピコリム案                                                                                                                                                                                                                      |
| 補足      |     | ・福山市の市民ニーズを踏まえ、「こどもを一時的に預かる場所」等の取り組みは参考になるか                                                                                                                                                                                   |

➤ アクセスが良く、こどもの遊び場を含め、発達支援や一時保育などの複数のサービスを享受できる

# 1（2）ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ③東京都日野市

|             |                                                                                                                                                                                |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治体名        | 東京都日野市                                                                                                                                                                         |
| 施設名         | 日野市子ども包括支援センター「みらいく」                                                                                                                                                           |
| 場所          | 東京都日野市神明一丁目13番地の2                                                                                                                                                              |
| 開設時期        | 2022年11月竣工、2025/5/27子育て課、保育科、子ども家庭支援センターが移転、2025/6/24子育て広場・中高生世代スペースオープン                                                                                                       |
| 運営方法        | 行政主導                                                                                                                                                                           |
| 整備方法        | 新設                                                                                                                                                                             |
| イニシャルコスト    | 8億7,872万                                                                                                                                                                       |
| 施設維持費       | －                                                                                                                                                                              |
| 補助金など       | －                                                                                                                                                                              |
| 開設～5年間の経費   | －                                                                                                                                                                              |
| 整備されているフロア  | カフェ、保育課、子育て課、キッズコーナー、個別相談ブース、子供包括支援センター、地域支援係、母子保健係、相談支援係、スクールソーシャルワーカー、会議室、相談室、フリースペース                                                                                        |
| 整備している機能    | 子育て課→児童手当、医療費助成、児童クラブに入所手続き<br>保育科→保育所入園の相談、手続き<br>子どもなんでも相談窓口→こども自身の悩み、妊娠や出産、子育ての不安・疑問の相談<br>子ども家庭支援センター→妊娠届の受付、母子健康手帳の交付<br>子育てひろば→乳幼児の遊び場、保護者の交流の場<br>中高生世代スペース→中高生世代専用の居場所 |
| 市役所本庁舎に残す機能 | 子育て関連の手続き以外の機能等                                                                                                                                                                |

|         |     |                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子手帳の交付が可能。</li> <li>・子育て系の手続きをその場で行える。</li> <li>・駐車場がある。</li> <li>・市役所から徒歩5分圏内。</li> </ul>                                                                                                        |
|         | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所から徒歩5分圏内</li> <li>・駐車場がある。</li> <li>・高学年専用スペースもあり広い世代に居場所が提供される。</li> <li>・カフェやフリースペースがあるためリラックスできる。</li> <li>・子育て系の手続きをその場で行える。</li> <li>・子供のための遊び場が多くエリアに分かれており様々な遊び方ができる。また予約も可能。</li> </ul> |
|         | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所から徒歩5分圏内</li> <li>・高学年世代の専門スペースもあり広い世代に居場所が提供される。</li> <li>・カフェやフリースペースがあるためリラックスできる。</li> <li>・子供のための遊び場が多くエリアに分かれており様々な遊び方ができる。また予約も可能。</li> <li>・相談室にはこども自身も対象になっているため、相談できる。</li> </ul>     |
| デメリット   | 行政  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁で母子健康手帳の交付ができない。</li> <li>・土地の確保が必要であり、建設費用がかかる</li> </ul>                                                                                                                                       |
|         | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て以外の手続きは市役所に移動しなければならない。</li> <li>・最寄りの駅から20分ほど離れている。</li> <li>・子供の遊び場を対象が0～3歳まで。各時間で利用が区切られている。各回12組までの上限がある。</li> </ul>                                                                        |
|         | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最寄りの駅から20分ほど離れている。</li> <li>・子供の遊び場を対象が0～3歳まで。各時間で利用が区切られている。</li> <li>・各回12組までの上限がある。</li> </ul>                                                                                                  |
| グルーピング案 |     | ③新設案                                                                                                                                                                                                                                       |
| 補足      |     | ・カフェ等を併設していることで、年長のこどもたちもさまざまな「居場所」として利用できる施設として設計されているか。                                                                                                                                                                                  |

➤ **子育て系の手続きが提供**される包括支援センターであり、**カフェ等を併設**していることで、こどもの居場所として利用できる施設として設計されている

# 1 (2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ④大阪府箕面市

|             |                                                                                                                                                                                            |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治体名        | 大阪府箕面市                                                                                                                                                                                     |
| 施設名         | らいとぴあ21（箕面市萱野中央人権文化センター）                                                                                                                                                                   |
| 場所          | 大阪府箕面市萱野1-19-4（北大阪急行「箕面萱野駅」から徒歩10分等）                                                                                                                                                       |
| 開設時期        | 2010年4月1日より指定管理者として「特定非営利活動法人暮らしづくりネットワーク北芝」が運営を開始、とあるのでそれと同時かそれ以前に開設                                                                                                                      |
| 運営方法        | 指定管理者「特定非営利活動法人暮らしづくりネットワーク北芝」<br>※おひさまルームのスタッフは箕面市の保育士                                                                                                                                    |
| 整備方法        | 不明                                                                                                                                                                                         |
| イニシャルコスト    | －                                                                                                                                                                                          |
| 施設維持費       | 2023年の施設への市支出額：1億1,200万円                                                                                                                                                                   |
| 補助金など       | －                                                                                                                                                                                          |
| 開設～5年間の経費   | －                                                                                                                                                                                          |
| 整備されているフロア  | 3階建て                                                                                                                                                                                       |
| 整備している機能    | 【相談】：おひさまルーム(子育て支援センター)（子育て相談）、教育相談、若者・子育て世代の生活相談<br>【居場所】：おひさまルーム(子育て支援センター)（親子の遊び場、交流）、自習学習室、ぴあぴあルーム（放課後の子どもたちの居場所）、図書コーナー<br>【その他】：ホール、講座室、視聴覚室、調理実習室、会議室、多目的室、一部市役所機能（住民票・印鑑登録証明書等の発行） |
| 市役所本庁舎に残す機能 | ・妊娠届・母子健康手帳の交付、保育園等の手続き業務<br>・本庁舎で対応しているこども・子育て関連の相談は、乳幼児でんわ相談（こどもすこやか室）、ひとり親家庭相談（子育て支援室）のみ。一般的な子育て相談はすべて子育て支援センターで対応している                                                                  |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                   |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政                                                                                                                                                                                                                                                              | ・施設管理は外部団体、子育ての相談業務は保育士が行っているため、市の職員は行政が取り組むべき業務に集中することができる                       |
|         | 親                                                                                                                                                                                                                                                               | ・市役所まで行かなくても、身近な場所（出張子育てひろばなども含む）でこどもを遊ばせることができ、親同士のつながりを構築することができる               |
|         | こども                                                                                                                                                                                                                                                             | ・家の近くに身近に遊べる場所がある<br>・近所のこどもたちと仲良くなれるチャンスがある                                      |
| デメリット   | 行政                                                                                                                                                                                                                                                              | ・手続き系の業務は市役所のみで行われており、市役所本庁舎と当該施設の距離が離れているため、連携がとりにくく、手続きが必要な市民には市役所に出向いてもらう必要がある |
|         | 親                                                                                                                                                                                                                                                               | ・手続き系の業務は市役所のみで行われており、市役所本庁舎と当該施設の距離が離れているため、相談後に手続きが必要となった場合は市役所本庁舎まで移動する必要がある   |
|         | こども                                                                                                                                                                                                                                                             | －                                                                                 |
| グルーピング案 |                                                                                                                                                                                                                                                                 | ①天満屋案                                                                             |
| 補足      | ・手続き系の業務が市役所で、相談・交流拠点としての機能がセンター、というすみわけは天満屋にも通ずるものがあるか<br>・本施設の令和5年度利用者アンケートをみると、「施設の利用のしやすさ」は比較的评价が高く、機能に関しても満足度が高い。つまり、市民に手続き→市役所、その他の交流→別センターという位置づけを理解してもらえれば、相談、手続きの場所のすみ分けは問題にならないと考えることもできるか<br>・市役所、施設HPともに、「どこでどんな事業を行っているのか」が明確でない印象である。情報発信の工夫は課題か。 |                                                                                   |
|         |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                   |

➤ 相談機能と手続き機能がすみ分けされている 支援センターであり、相談業務は保育士が行っており、手続き業務は市の職員が対応する

# 1 (2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑤大阪府茨木市 (1/2)

|           |                                                                                                                                                          |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治体名      | 大阪府茨木市                                                                                                                                                   |
| 施設名       | 茨木市文化・子育て複合施設おにクル<br>※「おにクル」は一般公募・市民投票で決定                                                                                                                |
| 場所        | ・大阪府茨木市駅前三丁目9番45号<br>・茨木市の中心市街地で、市役所をはじめとする行政施設が集まっており、公園や緑地など、自然豊かな立地                                                                                   |
| 開設時期      | 2023(令和5)年11月26日                                                                                                                                         |
| 運営方法      | 【全体管理・調整・マネジメント】<br>総合企画・調整機能（館長・総合プロデューサーなど）<br>新施設所管課<br>【各施設運営】<br>・共用エリア、芝生広場、ホール、市民活動センター、子育て世代包括支援センター（一部）→指定管理または委託<br>・図書館、子育て世代包括支援センター（一部）→市直営 |
| 整備方法      | 新設（DB方式）                                                                                                                                                 |
| イニシャルコスト  | 約119.1億円（ホール等施設：約88億円、子育て支援施設・図書館・市民活動センター等：約27.5億円、大屋根：約1.2億円、駐車場・駐輪場・芝生広場等：約2.4億円）                                                                     |
| 施設維持費     | 年間約2～3億円（見込み）<br>（建物・設備の保守管理、ホール管理、清掃、警備、外構・植栽等の管理、光熱水費を想定）                                                                                              |
| 補助金など     | 財源：国庫補助金、市債、文化施設建設基金、寄付金、クラウドファンディング                                                                                                                     |
| 開設～5年間の経費 | -                                                                                                                                                        |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整備されているフロア  | 7階立て・芝生広場                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 整備している機能    | <p>【相談】<br/>こども支援センター（健康診査、相談窓口などワンストップ提供）</p> <p>【居場所】<br/>子育てフリースペース（遊び場、交流、活動）、おはなしのいえ、えほんひろば（図書室、おはなし会）、図書館、市民活動センター、市民交流スペース、交流フリースペース</p> <p>【その他】<br/>芝生広場、エントランス広場、屋内遊戯場、多目的ホール、調理実習室、カフェ、事務室（ホール開催のチケット販売、施設貸出など）、一時保育室、音楽スタジオ、コワーキングスペース、プラネタリウム、屋上広場</p> |
| 市役所本庁舎に残す機能 | <p>・妊娠届・母子健康手帳の交付、保育園等の手続き業務</p> <p>・本庁舎で対応しているこども・子育て関連の相談は、乳幼児でんわ相談（こどもすこやか室）、ひとり親家庭相談（子育て支援室）のみ。一般的な子育て相談はすべて子育て支援センターで対応している</p>                                                                                                                                |

➤ 市役所本庁舎と隣接しているため、市役所との連携がとりやすい

# 1（2）ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑤大阪府茨木市（2/2）

|         |     |                                                                                                                                |
|---------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政  | 本庁舎（こども政策課）で対応しているこども・子育て関連の相談は、<br>・ひとり親に関する相談<br>・ヤングケアラーに関する相談<br>で、妊娠・出産・子育てに関する相談はすべておにクル（子ども支援課）または地域の子育て支援センター等で受け付けている |
|         |     | ・市役所本庁舎と隣接しており、連携がとりやすいかつ市民の手間を取らずに対応できる                                                                                       |
|         | 親   | ・市役所本庁舎と隣接しており、子育てに限らず生活の手続き・相談に必要な機能が一か所にまとまっているため利便性が高い                                                                      |
|         | こども | ・様々なジャンルの施設があり、体験機会を得ることができる                                                                                                   |
| デメリット   | 行政  | ・土地の確保が必要であり、建設費用がかかる                                                                                                          |
|         | 親   | －                                                                                                                              |
|         | こども | －                                                                                                                              |
| グルーピング案 |     | ③新設案                                                                                                                           |

➤ 市役所本庁舎と隣接しているため、市役所との連携がとりやすい

# 1 (2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑥愛媛県今治市 (1/2)

|            |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治体名       | 愛媛県今治市                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 施設名        | (仮称) 今治版ネウボラ拠点施設                                                                                                                                                                                                                                              |
| 場所         | ・今治市南宝来町一丁目1番地1、3、4、6番地1<br>・JR今治駅から約450m、徒歩約6分<br>・旧日吉小学校の一部と、隣接する中央公民館、日吉公園、旧中央乳児保育所、旧働く婦人の家を含む一団の公有地                                                                                                                                                       |
| 開設時期       | 2030(令和12)年に供用開始・全体整備完了                                                                                                                                                                                                                                       |
| 運営方法       | 本市が自ら運営すべき機能については本市の直営とし、その他の機能に係る管理・運営については、指定管理者制度の導入等を検討                                                                                                                                                                                                   |
| 整備方法       | 新設 (DBO方式)                                                                                                                                                                                                                                                    |
| イニシャルコスト   | 約71億円 (子育て支援：約31億円、保健センター・地域交流センター：約40億円)                                                                                                                                                                                                                     |
| 施設維持費      | -                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 補助金など      | 財源：国庫補助金、交付金等を有効に活用するほか、起債、一般財源、民間資金等の多様な手段のなかから最適な資金調達手法を採用                                                                                                                                                                                                  |
| 開設～5年間の経費  | -                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 整備されているフロア | 3パターンで検討中※右に図(今治①)を添付                                                                                                                                                                                                                                         |
| 整備している機能   | <p>【相談】</p> <p>子ども家庭総合支援拠点 (相談、親子交流など)、子育て世代包括支援センター (母子健康手帳交付など)、発達支援センター (相談、発達検査など)</p> <p>【居場所】</p> <p>地域子育て支援拠点 (親子交流、テラス、研修など)、児童センター (遊戯場、学習室、図書室など)、地域交流センター (多目的室、ホールなど)</p> <p>【その他】</p> <p>ファミリー・サポート・センター (保育)、一時預かり、保健センター、カフェ・テナント、日吉公園、駐車場</p> |

市役所本庁舎に残す機能

現在市役所に置かれている①「子ども家庭総合支援拠点」②「子育て世代包括支援センター」を複合化するため、その他の機能は市役所に残るか

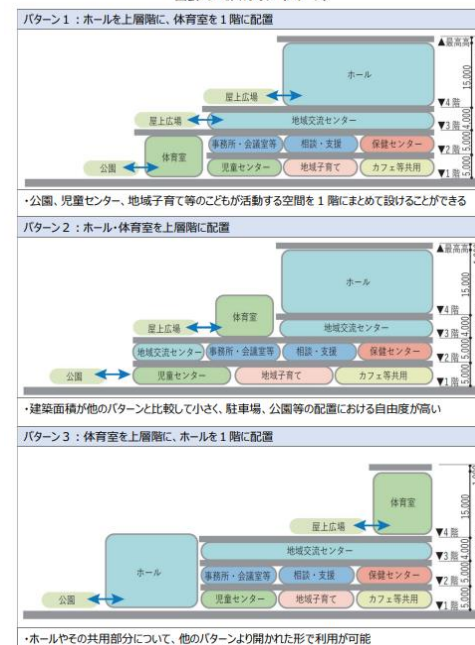
具体的な事業内容：

①児童虐待相談、家庭児童相談、婦人相談、母子父子相談

②母子健康手帳の交付、低出生体重児届出、妊産婦の面談など

### 【参考：モデルプラン】

図表23 モデルプラン (パターン)



出所：「今治版ネウボラ拠点施設整備基本計画」

➤ こども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの機能を統合し、**相談機能と手続き機能の両方が整備**されている

# 1 (2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑥愛媛県今治市 (2/2)

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                       |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政                                                                                                                                                                                                                                                                       | ・市役所本庁舎が近く、連携がとりやすいかつ市民の手間を取らずに対応できる                  |
|         | 親                                                                                                                                                                                                                                                                        | ・市役所本庁舎が近く、子育てに限らず生活の手続き・相談に必要な機能が一か所にまとまっているため利便性が高い |
|         | こども                                                                                                                                                                                                                                                                      | ・児童センター内に屋内遊技場、図書室、学習室など様々な機能があり、自由に過ごすことができる         |
| デメリット   | 行政                                                                                                                                                                                                                                                                       | ・土地の確保が必要であり、建設費用がかかる                                 |
|         | 親                                                                                                                                                                                                                                                                        | ー                                                     |
|         | こども                                                                                                                                                                                                                                                                      | ー                                                     |
| グルーピング案 |                                                                                                                                                                                                                                                                          | ③新設案                                                  |
| 補足      | <p>・右のフロア図（今治①）の、1・2階部分の使い方は、福山のケースにとっても参考になるか。</p> <p>→今治が1階にカフェを設置予定であることを踏まえ、天満屋の8階に残る飲食店もコミュニティスペースの一部としてこどもを遊ばせている間に食事ができる場所、みたいな活用方法も一案か</p> <p>→天満屋8階は食事ができる場所とこどもたちの遊び場、7階は相談・手続きの窓口、のような分け方ができれば、コミュニティスペースとしてのフロアと、相談支援の場としてのフロアで、どちらの利用者にとっても利用しやすい印象になるか</p> |                                                       |

- こども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの機能を統合し、**相談機能と手続き機能の両方が整備**されている

# 1（2）ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑦神奈川県横浜市

|             |                                                                    |
|-------------|--------------------------------------------------------------------|
| 自治体名        | 神奈川県横浜市                                                            |
| 施設名         | 地区センターのプレイルーム（18区27館）                                              |
| 場所          | 市内の地区センター                                                          |
| 開設時期        | 2025年11月にリニューアル                                                    |
| 運営方法        | 公益社団法人横浜市民施設協会による運営                                                |
| 整備方法        | 改装                                                                 |
| イニシャルコスト    | －                                                                  |
| 施設維持費       | －                                                                  |
| 補助金など       | －                                                                  |
| 開設～5年間の経費   | －                                                                  |
| 整備されているフロア  | 各施設の「プレイルーム」                                                       |
| 整備している機能    | 未就学児向け遊具、絵本、知育玩具、子育て相談、読み聞かせ等のイベント<br>会議室、音楽室、料理室、和室、体育室、読書・学習スペース |
| 市役所本庁舎に残す機能 | 行政手続き、相談関連すべて                                                      |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                        |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 相談機能の一部および未就学児及びその親の育児支援（こどもの遊び場の提供、親子同士のふれあいの場の提供等）を外部に委託することで、行政が取り組むべき領域を明確化し、集中してリソースを割くことができる                                     |
|         | 親                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ・市役所・区役所まで行かなくても、身近な施設でこどもを遊ばせることができ、親同士のつながりを構築することができる<br>・委託業者が運営する施設であることで、行政窓口よりも気軽に子育て相談ができる可能性がある<br>・天気の良い日でも広々とこどもを遊ばせることができる |
|         | こども                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ・家の近くに身近に遊べる場所がある<br>・近所のこどもたちと仲良くなれるチャンスがある                                                                                           |
| デメリット   | 行政                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 各施設に一定の運営コストがかかる                                                                                                                       |
|         | 親                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 一部の機能のみが設置されていることから、相談の内容によっては別途役所に赴く必要があるなど、ワンストップで困りごとを解決できない可能性がある                                                                  |
|         | こども                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | －                                                                                                                                      |
| グルーピング案 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ④その他                                                                                                                                   |
| 補足      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもに人気の絵本「もいもい」の作者である横浜市ゆかりの絵本作家市原淳氏がプロデュース</li> <li>・親子がゆっくりと過ごせる絵本コーナーを追加で設置</li> <li>・親子で楽しく学べる知育玩具を新たに設置</li> <li>・中央図書館の司書がおすすめする約120冊の乳幼児向けの新しい絵本セットを全館共通で配架</li> <li>・未就学児（0-6歳）と保護者のための遊び場</li> <li>・事前予約不要、無料で利用可能</li> <li>・子育て相談や読み聞かせ等のイベントも実施</li> </ul> |                                                                                                                                        |
|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                        |

➤ **相談機能と育児支援は一部業者に委託**し、行政領域を明確化できる施設で、知育玩具や絵本などが多く設置されている

# 1（2）ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑧京都府京都市西京区

|             |                                                       |
|-------------|-------------------------------------------------------|
| 自治体名        | 京都府京都市西京区                                             |
| 施設名         | 親子のあそびば「らくさいきのひろば」                                    |
| 場所          | 洛西支所1階ロビー                                             |
| 開設時期        | 不明                                                    |
| 運営方法        | 支所地域力推進室（常駐スタッフは不在）                                   |
| 整備方法        | 改装                                                    |
| イニシャルコスト    | －                                                     |
| 施設維持費       | －                                                     |
| 補助金など       | －                                                     |
| 開設～5年間の経費   | －                                                     |
| 整備されているフロア  | 洛西支所1階ロビー                                             |
| 整備している機能    | 木製のボールで作られた「木のプール」、ウォールトイ、木の滑り台・ボルダリング、絵本（赤ちゃんから使用可能） |
| 市役所本庁舎に残す機能 | －                                                     |

|         |     |                                                                                              |
|---------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政  | こどもたちに気軽に遊びに来てもらうきっかけを提供可能                                                                   |
|         | 親   | ・身近な場所でこどもを遊ばせることができ、親同士のつながりを構築することができる<br>・ワンストップで必要な手続きができる<br>・天気の良い日でも広々とこどもを遊ばせることができる |
|         | こども | ・家の近くに身近に遊べる場所がある<br>・近所のこどもたちと仲良くなれるチャンスがある                                                 |
| デメリット   | 行政  | 初期コスト（整備費用）がかかる                                                                              |
|         | 親   | －                                                                                            |
|         | こども | －                                                                                            |
| グルーピング案 |     | ④その他                                                                                         |
| 補足      |     | ・気を一面に使った親子のあそびば。触って遊べるウォールトイや赤ちゃんも登れるボルダリングも設置<br>・常駐のスタッフは不在<br>・貸し切りも可能                   |

➤ 木製玩具が整っており、こどもの遊び場としてはもちろん、貸し切り可能であることから、イベントスペースとしても活用が想定される

# 1 (2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑨東京都荒川区

|             |                                                                                                                                                   |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治体名        | 東京都荒川区                                                                                                                                            |
| 施設名         | ゆいの森あらかわ                                                                                                                                          |
| 場所          | 東京都荒川区荒川2丁目50-1                                                                                                                                   |
| 開設時期        | 2017年3月                                                                                                                                           |
| 運営方法        | 行政主導                                                                                                                                              |
| 整備方法        | —                                                                                                                                                 |
| イニシャルコスト    | —                                                                                                                                                 |
| 施設維持費       | —                                                                                                                                                 |
| 補助金など       | —                                                                                                                                                 |
| 開設～5年間の経費   | —                                                                                                                                                 |
| 整備されているフロア  | 1階/5階建ての複合施設                                                                                                                                      |
| 整備している機能    | えほん館、バリアフリーコーナー、ホール、遊びラウンジ（大型遊具あり、子育て世代の交流の場、常駐の保育士が相談にも対応、子育て講座、身長体重測定なども実施）、子どもひろば（科学実験やワークショップを用意。特に夏休み期間中の子ども向けのワークショップを実施）、託児室（乳幼児一時預かり）、カフェ |
| 市役所本庁舎に残す機能 | 行政手続き関連                                                                                                                                           |

|         |     |                                                                                                                                                      |
|---------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政  | ・複合施設となっていることで、管理に必要な人員を一定削減することができる                                                                                                                 |
|         | 親   | ・託児を利用することで、館内でゆっくり読書や展示を鑑賞しながら、生涯学習や息抜きの機会を得ることができる<br>・天気の悪い日でも、屋内で子どもを遊ばせることができる<br>・同世代の子どもを持つ親との関わりを持つことができる<br>・育児の悩みを専門家に相談することができる           |
|         | 子ども | ・家の近くに身近に遊べる場所がある<br>・近所の子どもたちと仲良くなれるチャンスがある                                                                                                         |
| デメリット   | 行政  | —                                                                                                                                                    |
|         | 親   | 一部の機能のみが設置されていることから、相談の内容によっては別途役所に赴く必要があるなど、ワンストップで困りごとを解決できない可能性がある                                                                                |
|         | 子ども | —                                                                                                                                                    |
| グルーピング案 |     | ④その他                                                                                                                                                 |
| 補足      |     | ・「図書館」「吉村昭記念文学館」「子どもひろば」が一体化した、赤ちゃんから高齢者まで幅広く楽しめる施設。<br>・1階託児室では、荒川区内に在住の生後6ヶ月～就学前の乳幼児を、1人につき月7回まで預かってくれる。定員5名で1クール（2時間）1000円の料金がかかる。ホームページからの予約も可能。 |

➤ 図書館や託児室が完備されており、**託児を利用しながら息抜き**ができ、赤ちゃんから高齢者まで楽しめる複合施設である

# 1（2）ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑩茨城県常陸大宮市

|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 自治体名        | 茨城県常陸大宮市                        |
| 施設名         | 屋内こどもの遊び場 わくわくピサー口の森            |
| 場所          | 常陸大宮ショッピングセンターピサー口内             |
| 開設時期        | 2025年11月                        |
| 運営方法        | 常陸大宮街づくり株式会社                    |
| 整備方法        | 新設                              |
| イニシャルコスト    | 1億円                             |
| 施設維持費       | －                               |
| 補助金など       | －                               |
| 開設～5年間の経費   | －                               |
| 整備されているフロア  | 1階/2階建てのショッピングセンター              |
| 整備している機能    | こどもの室内遊び場、保護者同士のコミュニティエリア、絵本エリア |
| 市役所本庁舎に残す機能 | 行政機能に係る機能すべて                    |

|         |     |                                                                                                  |
|---------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政  | ・子育て環境の整備                                                                                        |
|         | 親   | ・ショッピングのついでで立ち寄ることができる<br>・天気の悪い日でも、屋内でこどもを遊ばせることができる<br>・同世代のこどもを持つ親との関わりを持つことができる              |
|         | こども | ・雨の日でも思いっきり遊べる場所がある<br>・市内のこどもたちと仲良くなれるチャンスがある                                                   |
| デメリット   | 行政  | 相談、手続きを必要とする市民をこの場で拾い上げ、支援をすることができない（資料などの情報提供にとどまるか）                                            |
|         | 親   | ・遊び場、交流の場以外の目的での利用ができないため、相談や手続きが必要な場合は市役所に赴く必要がある。<br>・1歳以上は利用料が必要。                             |
|         | こども | －                                                                                                |
| グルーピング案 |     | ①天満屋案                                                                                            |
| 補足      |     | ・デパートではないが、ショッピングモールの一エリアを活用した事例であり、天満屋でのこどもの遊び場エリアの整備の参考になるか。<br>・遊び場の運営を第3セクターに委託しており、1歳以上は有料。 |

➤ ショッピングセンターの中にある屋内こどもの遊び場であり、**天気の影響を受けず、ショッピングのついでで立ち寄ることができる**

# 1 (2) ネウボラセンターとして先進的な取組を行っている自治体の事例調査

## ⑪東京都渋谷区

|             |                                                                                                                                            |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治体名        | 東京都渋谷区                                                                                                                                     |
| 施設名         | coしぶや                                                                                                                                      |
| 場所          | 東京都渋谷区宇田川町5-6 渋谷区子育てネウボラ 2-3階                                                                                                              |
| 開設時期        | 2021年8月                                                                                                                                    |
| 運営方法        | まちの研究所株式会社<br>運営サポート：ナチュラルスマイルジャパン株式会社<br>協力パートナー：株式会社良品計画（空間設計・デザイン）                                                                      |
| 整備方法        | －                                                                                                                                          |
| イニシャルコスト    | －                                                                                                                                          |
| 施設維持費       | －                                                                                                                                          |
| 補助金など       | －                                                                                                                                          |
| 開設～5年間の経費   | －                                                                                                                                          |
| 整備されているフロア  | 渋谷区子育てネウボラ内2F/3F<br>施設自体は8階建て                                                                                                              |
| 整備している機能    | ・木の香りに包まれてゆったりと遊んだり、子育て相談ができる「ひろば」<br>・子どもたちが自由に探究し、ひらめきや出会いの場となる「 <u>アトリエ</u> 」<br>・幅広い世代が居心地良く過ごせる、コミュニティを育む「カフェ」<br>プレイグラウンドスペース（遊びの広場） |
| 市役所本庁舎に残す機能 | 行政機能に係る機能すべて                                                                                                                               |

|         |     |                                                                                                                                                                                            |
|---------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット    | 行政  | ・子育て環境の整備                                                                                                                                                                                  |
|         | 親   | ・身近な場所で子どもを遊ばせることができ、親同士のつながりを構築することができる<br>・ほかのフロアでの相談ついでに立ち寄ることができる<br>・育児の悩みを専門家に相談することができる<br>・ <u>天気の悪い日でも広々と子どもを遊ばせることができる</u><br>・同施設内 8 階に <u>屋上庭園があるため外でも遊ぶことができる</u><br>・アクセスが良好 |
|         | 子ども | ・雨の日でも思いっきり遊べる場所がある<br>・都内の子どもたちと仲良くなれるチャンスがある<br>・18歳まで困りごと、悩み事を相談できる。                                                                                                                    |
| デメリット   | 行政  | 初期コスト（整備費用）がかかる                                                                                                                                                                            |
|         | 親   | ・会員登録が必要<br>・手続きなどは役所に赴かなければならない。                                                                                                                                                          |
|         | 子ども | －                                                                                                                                                                                          |
| グルーピング案 |     | ③新設案                                                                                                                                                                                       |
| 補足      |     | ・ <u>木育等子どもの完成の育成に一役買うか</u><br>・ <u>対象は妊娠中のお母さんから、18歳までの子ども</u>                                                                                                                            |

➤ アクセスが良く、天気の悪い日でも子どもを遊ばせることができ、施設内には育児の専門家が常駐しているが、会員登録の手続きは必須である

## 2. 分析結果

## 2 分析結果

- 福山市の既存調査結果を分析したところ、**市民のニーズ**としては「相談・解決」「交流の場」「情報発信」「居場所」に関するものが多くみられたことから、この結果と先進事例調査および国のトレンド・市の取り組みへの評価等の結果を掛け合わせて、総合的な分析・検討を行った
- 分析・検討の結果として、新たなネウボラセンターに設置することが望ましい機能として、下記の4つを整理した

### 調査結果を踏まえ、市民のニーズが高いと考えられる機能

#### 相談・解決



#### 交流の場



#### 情報発信



#### 居場所



### 新たなネウボラセンターに設置することが望ましいと考えられる機能

#### 悩みを相談したら解決に直結する仕組み

悩みの種類・支援ニーズは年代によっても多様であることから、オンライン相談、LINE相談等の導入も含め、様々なニーズに寄り添うことのできる相談機能を設置することに加え、相談から解決までワンストップで支援できる支援体制の構築が望ましい

#### 子育てをする親同士が交流できる機会の提供

子どもを遊ばせながら、親同士が交流できるような場の整備に加え、SNS等を活用した、バーチャル空間でのコミュニケーション機会が創出されることで、より幅広い対象が利用できる機能になると考えられる

#### 支援に関する情報の提供

支援ニーズは多様であることから、対面・オンライン（SNS）を組み合わせながら、様々なニーズに寄り添うことのできる支援プログラムを用意するとともに、SNS等の媒体をうまく活用し、こうした支援に係る情報を対象者に広く提供・周知することのできる機能が必要である

#### 悪天候でも子どもが遊べる設備・誰もが落ち着いてくつろげる居場所の整備

利用する年代に応じ、リアル・バーチャルを組み合わせながら、様々な市民の「居場所」となるような場を整備することが望ましい

### 3. コンセプト案

# 各種調査・研究の結果を踏まえ、本市で設置予定の「ネウボラセンター」のコンセプトについて、下記の4つの案が考えられる（各案の詳細はP.31～42を参照）

|                        | 案①<br>(該当スライド：P.31～33)                                                                                                                                                                                                                                                                     | 案②<br>(該当スライド：P.34～36)                                                                                                                                                                                                                                                          | 案③<br>(該当スライド：P.37～39)                                                                                                                                                                                                                                                                              | 案④<br>(該当スライド：P.40～42)                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンセプト                  | 駅前でアクセスしやすい百貨店                                                                                                                                                                                                                                                                             | 様々な人が集まる複合機能を有効活用した施設                                                                                                                                                                                                                                                           | 幅広い年代の子どもとその保護者がのびのび楽しめる施設                                                                                                                                                                                                                                                                          | 身近な支所を活用した施設                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 設置候補地                  | 天満屋（改装）                                                                                                                                                                                                                                                                                    | エフピコRIM（改装）                                                                                                                                                                                                                                                                     | 建設予定のこども未来館（新設）                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 拠点4支所（改装）                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 特徴的な機能<br>※青字は新設の機能・要素 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 遊び場機能（子育て応援センター、えほんの国、プレイルーム＋<b>屋内遊具の拡充</b>）</li> <li>✓ 市内全域の保護者同士、子ども同士の<b>交流およびSNSなどを活用した情報発信の拡充</b>（オンラインおしゃべり広場、あのねオンライン相談）</li> <li>✓ <b>若者の居場所</b></li> <li>✓ 相談機能（ネウボラ相談窓口「あのね」、<b>若者を対象とした相談、手続機能の拡充</b>）<br/>※一部DXを活用</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>施設の入居企業や地域の団体等とコラボレーションした交流機能</b></li> <li>✓ 市内全域の保護者同士、子ども同士の<b>交流機能およびSNSなどを活用した情報発信機能</b></li> <li>✓ <b>既存施設（会議室など）を活用した若者の居場所の創出</b></li> </ul>                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>大型遊具のある遊び場機能（屋内・屋外）</b></li> <li>✓ 市内全域の保護者同士、子ども同士の<b>交流機能およびSNSなどを活用した情報発信機能</b></li> <li>✓ <b>若者の居場所</b></li> <li>✓ <b>相談機能（手続きの受付を含む）</b><br/>※一部DXを活用</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>プレイルーム（主に乳幼児を対象とした屋内遊び場機能の拡充</b><br/>※玩具、絵本等の設置を含む）</li> <li>✓ 主に乳幼児の保護者・子ども同士を対象とした<b>交流機能の拡充</b></li> <li>✓ ワンストップでの相談・手続き機能<br/>※一部DXを活用</li> </ul>                                                                                                |
| 主なメリット・デメリット           | <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内中心部に位置し、市内の様々なエリアからアクセスしやすい</li> <li>✓ 既存の施設を改装することで<b>早期にオープンが可能</b></li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 百貨店の中にあることで、特に相談等では敷居を高く感じてしまう可能性がある</li> <li>✓ 施設の仕様によって追加できる機能に制限が生じる可能性がある</li> </ul> | <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内中心部に位置し、市内の様々なエリアからアクセスしやすい</li> <li>✓ 既に入居している企業との連携や<b>施設が保有する設備・機能を活用可能</b></li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 設置費用が高額になる</li> <li>✓ <b>建設工事等のため、オープンまで一定の準備期間が必要になる</b></li> </ul> | <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新設であることから、施設の仕様についても比較的柔軟に検討可能であるため、<b>必要な機能をすべて盛り込める</b></li> <li>✓ 新設であるため、場所に対する先入観・イメージの影響を受けづらい</li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 設置費用が高額になる</li> <li>✓ <b>建設工事等のため、オープンまで一定の準備期間が必要になる</b></li> </ul> | <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 既存施設・機能を有効に活用することができ、<b>比較的低予算での整備が可能</b></li> <li>✓ 地域の身近な施設であるため、<b>保護者・子どももアクセスしやすい</b></li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 施設の内容、規模から主な利用対象が乳幼児・保護者に制限される</li> <li>✓ 施設の仕様等によって追加できる機能に制限がある</li> </ul> |

設置候補地の立地や規模を踏まえ、こどもと保護者、こどもに関わる地域の人たちが、買い物をついでや疲れた時でも、気軽に立ち寄ることができる、「いつもあたたかい、みんなの居場所」を用意することが有効であると考えられる

## コンセプト案①：駅前でアクセスしやすい百貨店にある施設 【テーマと基礎情報】

“ふくやまのこどもとこどもの育ちに関わる人  
すべてを応援する、みんなの居場所”

【イメージ①：コンパクトで温かみのある木の遊具】



出所：「COLぶや」ホームページ

【イメージ②：オープンスペース】



出所：「ゆいの森あらかわ」  
ホームページ

【イメージ③：心と体に優しいカフェ】



出所：「COLぶや」ホームページ

### 基礎 情報

|              |                                                                |
|--------------|----------------------------------------------------------------|
| 候補地          | 天満屋                                                            |
| 整備方法         | 改装（DB方式）                                                       |
| 規模           | 1,900㎡ （既存施設660㎡を含む）                                           |
| 開設時期         | 2025年夏                                                         |
| イニシャル<br>コスト | 改修費：2億円（概算）                                                    |
| 施設<br>維持費    | 賃料6,000万円 /年（概算）                                               |
| 補助金等         | 新しい地方経済・生活環境創生交付金<br>地方債（こども・子育て支援事業債）                         |
| 一般財源         | —                                                              |
| 開設5年間の<br>経費 | 4.4億円（概算）<br>（初年度2億円＋4年間2.4億円）                                 |
| 整備する<br>フロア  | 未就学児・保護者の居場所、遊び場、相談機能<br>若者居場所、多目的室、相談機能（事務室）<br>申請受付※本庁とWEB連携 |

各種調査の結果を踏まえ、相談～手続きをワンストップで行うことができる機能や、関係機関と連携した若い世代のための居場所づくり、こどもの遊び場と保護者のリフレッシュを提供できる機能を盛り込んだ施設を設置することが有効であると考えられる

## コンセプト案①：駅前でアクセスしやすい百貨店にある施設 【機能】

機能

|                           |                  |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市役所<br>本庁舎に<br>残す機能       | ➤ 住所や戸籍の異動を伴う手続き | ➤ 先進事例調査においても、 <u>住所や戸籍の異動を伴う手続きについては、こども・子育てセンター機能に移動させているケースは見られなかった。</u> すべての機能を移転すると、本庁舎内での運営と大差がなくなってしまうため、総合的なメリットを判断したうえで、こども・子育てに係る相談・ <u>手続き機能のみの移転</u> で問題ないものと考えられる。 |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 新たに<br>設置する<br>機能<br>(青字) | 相談               | ➤ あのね相談、育児相談<br>➤ 虐待・ひとり親に関する相談<br>➤ 若者の相談<br>➤ 教育相談（不登校など）                                                                                                                     | ➤ <u>相談が解決に直結する機能をワンストップで提供</u> されることが求められている。【ニーズ調査】<br>➤ 併せて、SNS等を活用した利用可能な制度や仕組、施設、子育て関連のイベントなどの情報提供および相談機能に係るニーズも大きい。【ニーズ調査】                                                                                                                       |
|                           | 手続き              | ➤ <u>母子健康手帳の交付</u><br>➤ <u>保育施設（保育所・認定こども園等）・放課後児童クラブの利用申込</u><br>➤ <u>子育てに係る異動を伴わない手続き</u>                                                                                     | ➤ ニーズ調査結果を踏まえると、こどもが遊べる場所の整備、特段、 <u>天候に関わらず、こどもが遊べる全天候型の遊び場の整備</u> へのニーズは大きい。【ニーズ調査】                                                                                                                                                                   |
|                           | 居場所              | ➤ <u>若者の居場所創出のための多目的スペース（教育委員会・民間フリースクール等と連携した、多様なニーズに配慮した学び場の設置）（A）</u>                                                                                                        | ➤ <u>小学校高学年以上のこどもたちの利用を促進</u> することを念頭に、 <u>多目的スペース、多目的室を設置し、教育委員会や民間フリースクールと連携の上、こどもたちのニーズに沿った多様な「居場所」を提供（A）</u> する。                                                                                                                                   |
|                           | プレイエリア           | ➤ <u>木を基調とした（B）乳児・幼児向けのプレイエリア</u><br>➤ <u>幼児～児童を対象とした屋内木製遊具（B）</u><br>➤ 絵本の配架（＝えほんの国）                                                                                           | ➤ 既存の「プレイルーム」「えほんの国」は主に乳幼児向けの遊具・図書が多く設置され、幼児・児童の利用は限定的であると考えられるため、限られたスペース内ではあるものの、 <u>設置する遊具のレベルをできる限り多様化・多様化させ、安全上の配慮から、利用することの年代に合わせてエリアを分ける</u> 等の改修が有効であると想定される。                                                                                  |
|                           | その他              | ➤ 乳幼児の一時預かり（C）<br>➤ <u>保護者の語らいの場（D）（心と体に優しいレストランorカフェ）</u>                                                                                                                      | ➤ 遊具はトレンドを踏まえ、 <u>地産地消、「木育」を意識した木製（B）</u> のものが望ましい。【先進事例調査①】<br>➤ <u>こどもを一時預かりを利用してリフレッシュ（C）</u> する、もしくはこどもを遊ばせながら、 <u>他のこどもの親と交流するためのオープンスペース、もしくは、天満屋内のレストランと連携した、体と心に優しいカフェorレストラン</u> を設置することで、こどもとその保護者、さらには子育て中の世帯を超え、幅広い年代の地域の方も利用できる施設となる。（D）。 |

# 既存の施設・機能の拡充がベースであるため、他の案に比べて早期に整備・開設が可能であることが最も大きなメリットであると考えられる

## コンセプト案①：駅前でアクセスしやすい百貨店にある施設 【調査結果】

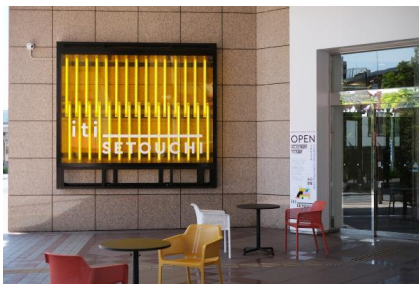
|      |       |     |                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|-------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査結果 | メリット  | 市   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 既存施設を活用することで、<b>早期に整備・開設が可能</b></li> <li>➢ 既存の支援機能の有効活用</li> <li>➢ 店舗との相乗効果で利用者増が見込まれる</li> <li>➢ <b>施設の維持費は原則、施設側で負担</b></li> </ul>                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 行政にとっては、既存施設、既存機能を有効に活用することで、他の案と比較して、<b>最も早く開設可能であることが最も大きなメリット</b>であると考えられる。</li> <li>➢ 保護者にとって、ニーズ調査結果を踏まえると、<b>子育てに係る手続きのワンストップ化のニーズは大きく、市中心部にある百貨店に買い物に来るついでにすべての手続きが完了することは、利便性向上につながる</b>ものと考えられる。</li> <li>➢ 子どもにとっては、保護者と買い物に来た「ついで」で、<b>天候に関わらず思いっきり遊べる場所があることは非常にうれしいこと</b>であると考えられる。少し年代の高い子どもたちにとっては、多目的スペースを活用して展開されるソフト面の支援等を通して、<b>この施設が、家・学校に次いで「第3の居場所」になるようなデザイン</b>ができることが望ましいと考えられる。</li> </ul>                           |
|      |       | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>こどもに係る必要な相談や手続きを1か所で完結</b>できる</li> <li>➢ 市中心部の整備のため、<b>利便性が高い</b></li> <li>➢ <b>他の保護者との交流機会</b>が生まれる</li> <li>➢ <b>リフレッシュ</b>できる</li> <li>➢ 駐車場があり、また駐輪場を整備予定である</li> <li>➢ 同じ施設内に駐車場があるので、雨天時も濡れずに移動し、利用できる</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|      |       | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 天候によらず、思いっきり遊べる</li> <li>➢ <b>家・学校以外の第3の居場所</b>ができる</li> <li>➢ 7階のロフトで買い物をしたついでに寄れる</li> </ul>                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|      | デメリット | 市   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 手続きのワンストップ化を実現するためには、申請受付体制の整備・人員確保が必要</li> <li>➢ 使用する限りずっと賃借料がかかる</li> <li>➢ 駐車場・駐輪場の無料化にあたっては、コスト負担がある</li> </ul>                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 子ども・子育てに係る行政機能の多くを移転するため、本庁舎側でワンストップの手続き処理ができなくなることは、<b>別部署との連携という点においても、行政にとってのデメリットとして働く可能性</b>がある。</li> <li>➢ 百貨店のテナントとして入居することで、<b>利用者は駐車場代などの追加的なコストを支払う必要</b>が生じる。</li> <li>➢ 百貨店のセールイベントによっては、駐車場の利用ができなくなる恐れがある。</li> <li>➢ さらに、市中心部・駅前という立地の利便性の高さはあるものの、<b>テナントに入る「百貨店」自体に「敷居の高い」イメージを持つ市民も一定数存在</b>する。子育てに係る行政の手続き機能をすべて持ってくることで、本庁舎で対応していた時と比べて、かえって利用しづらくなった、という声が出てくる可能性もある。敷居を低くするための方策の検討と併せて、利用促進に向けた効果的な周知が必要となる。</li> </ul> |
|      |       | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>敷居を高く感じてしまい</b>、一部の市民にとっては、足が遠く可能性もある</li> </ul>                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|      |       | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 保護者同伴での利用が前提になるため、単独で自由に入りはできない</li> </ul>                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

# 1階に入る民間企業の提供サービスや人材とのコラボレーションで、「新しい子育て支援のカタチ」を生み出すことが見込まれる

## コンセプト案②：様々な人が集まる複合機能を有効活用した施設 【テーマと基礎情報】

“周辺環境や建物の魅力を活かした  
新しい子育て支援のカタチ”

【イメージ①：カフェ】



▼出所：福山市ホームページ  
「みんなの希望をつくる場所  
『iti SETOUCHI』がオープン」

【イメージ②：フリースペースの活用】



テーマ

基礎  
情報

|              |                                                                |
|--------------|----------------------------------------------------------------|
| 候補地          | エフピコRIM                                                        |
| 整備方法         | 改装                                                             |
| 規模           | 約4,000㎡                                                        |
| 開設時期         | 2027年度                                                         |
| イニシャル<br>コスト | 修繕費:約15億円、改修費:2.7億円（概算）                                        |
| 施設<br>維持費    | 9,300万円/年（保守費など）（概算）                                           |
| 補助金等         | —                                                              |
| 一般財源         | —                                                              |
| 開設5年間の<br>経費 | 21.4億円（概算）<br>（初年度17.7億円＋4年間3.7億円）                             |
| 整備する<br>フロア  | 未就学児・保護者の居場所、遊び場、相談機能<br>若者居場所、多目的室、相談機能（事務室）<br>申請受付※本庁とWEB連携 |

# 子育てに係る相談～手続きのワンストップ化に加え、民間企業とのコラボレーションから、特に「若者の居場所」づくりにつながる新たなアイデア・取り組みが生み出されることが見込まれる

## コンセプト案②：様々な人が集まる複合機能を有する施設 【機能】

機能

|                     |                  |                                                                             |                                                                                                                                                                                                |
|---------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市役所<br>本庁舎に<br>残す機能 | ➤ 住所や戸籍の異動を伴う手続き | ➤ 「若者の居場所づくり」を重視するコンセプトであるため、 <u>若い世代に多く見られる事案の解決のための支援を行う</u> ことができるようにする。 |                                                                                                                                                                                                |
| 新たに<br>設置する<br>機能   | 相談               | ➤ あのね相談<br>➤ 虐待・ひとり親に関する相談<br>➤ 若者の相談<br>➤ 教育相談（不登校など）                      | ➤ <u>相談が解決に直結する機能をワンストップで提供</u> されることが求められている。（A）【ニーズ調査】<br>➤ 併せて、利用可能な制度や仕組、施設、子育て関連のイベントなどの情報提供に係るニーズも大きい。                                                                                   |
|                     | 手続き              | ➤ 子育てに係る異動を伴わない手続き（A）<br>➤ 母子健康手帳の交付<br>➤ 保育施設（保育所・認定こども園等）・放課後児童クラブの利用申込   |                                                                                                                                                                                                |
|                     | 居場所              | ➤ 若者の居場所（B）<br>➤ コミュニティスペース（C）                                              | ➤ <u>1階の入居企業と連携し、新たなコミュニティスペースの活用等を進めることで、これまでにない、新しい未来の居場所づくりにつながる可能性</u> がある。（B）<br>➤ 親同士が交流できる機会の提供に係るニーズは非常に大きい。（C）【ニーズ調査】<br>➤ <u>遊具、中でも悪天候でも利用できる室内プレイエリアの設置に係るニーズは非常に大きい。（D）【ニーズ調査】</u> |
|                     | プレイエリア           | ➤ 乳児・幼児向けのプレイエリア（D）<br>➤ 幼児～児童を対象とした木製遊具（D）                                 |                                                                                                                                                                                                |
|                     | その他              | ➤ 会議室<br>➤ 多目的室<br>➤ カフェ<br>➤ 休憩スペース                                        |                                                                                                                                                                                                |

既存の施設・機能の拡充がベースであるため、他の案に比べて早期に整備・開設が可能であること、また入居する民間企業とのコラボレーションによる新たな価値創造が最も大きなメリットであると考えられる

## コンセプト案②：様々な人が集まる複合機能を有する施設 【調査結果】

|          |       |     |                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------|-------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査<br>結果 | メリット  | 市   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 既存施設を活用することで、<u>早期に整備・開設が可能</u></li> <li>➢ 市の施設を有効活用できる</li> </ul>                                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 保護者にとって、ニーズ調査結果を踏まえると、子育てに係る手続きのワンストップ化のニーズは大きいと考えられる。</li> <li>➢ こどもにとっては、保護者と買い物に来た「ついで」で、<u>天候に関わらず思いっきり遊べる場所があることは非常にうれしいこと</u>であると考えられる。少し年代の高いこどもたちにとっては、1階の民間施設の共用スペースを活用して展開されるソフト面の支援等を通して、<u>この施設が、家・学校に次いだ「第3の居場所」になるようなデザイン</u>ができることが望ましいと考えられる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                         |
|          |       | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ こども・子育てに係る必要な<u>相談や手続きを1か所で完結</u>できる</li> <li>➢ 市中心部での整備のため、利便性が高い</li> <li>➢ 1階の民間施設が行う子育てイベントとの相乗効果で利用増が見込まれる</li> <li>➢ <u>駐輪場、駐車場を併設</u></li> <li>➢ 同じ施設内に駐車場があるので、雨天時も濡れずに移動し、利用できる</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|          |       | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 1階の民間施設にある共用スペースや、1階のテナントに入っている民間企業の提供サービスを含め、<u>自分らしい「居場所」を探すことができる</u></li> </ul>                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|          | デメリット | 市   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 施設維持費は市側で負担</li> <li>➢ 手続きのワンストップ化を実現するためには、申請受付体制の整備・人員確保が必要</li> <li>➢ 利用にあたり、修繕等に高額の整備費用がかかる</li> </ul>                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>使用していない期間が長かったため、修繕に高額な負担がかかり、結果的に整備費が高額となる。</u></li> <li>➢ <u>内装工事の前に修繕工事が必要であり、開設までに一定の期間を要する。</u></li> <li>➢ <u>長期利用にあたっては、その他の修繕が必要となる恐れがある。</u></li> <li>➢ <u>エレベーターなど特殊設備の修繕には相当の期間を要す。</u></li> <li>➢ こども・子育てに係る行政機能の多くを移転するため、本庁舎側でワンストップの手続き処理ができなくなることは、<u>別部署との連携という点においても、行政にとってのデメリットとして働く可能性</u>がある。</li> <li>➢ さらに、市中心部・駅前という立地の利便性の高さはあるものの、子育てに係る行政の手続き機能をすべて持ってくることで、本庁舎で対応していた時と比べて、商業施設内に設置することでかえって利用しづらくなった、という声が出てくる可能性もある。</li> </ul> |
|          |       | 親   | (なし)                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|          |       | こども | (なし)                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

新設であることを踏まえ、昨今のトレンドを取り入れ、芝生公園や木の遊具を内外に設置するなど、こどもはもちろん保護者も一緒にのびのび楽しめる「みらいの居場所」を提供することが見込まれる

コンセプト案③：幅広い年代のこどもとその保護者がのびのび楽しめる施設 【テーマと基礎情報】

“みんなが自由にのびのび過ごせる  
わくわく子育てのみらい”

【イメージ①：屋上芝生公園】



出所：「COLふや」ホームページ

【イメージ②：屋外遊具】



出所：タカオ（株）ホームページ

「ウッドデザイン賞2025」  
を受賞した山口県防府  
市との共同事業「市内  
丸ごと！インクルーシブ  
な木の遊び場」の事例

基礎  
情報

|              |                                          |
|--------------|------------------------------------------|
| 候補地          | 建設予定のこども未来館内                             |
| 整備方法         | 新設（DB＋指定管理、DBO方式）                        |
| 規模           | 約4,300㎡（こども未来館全体）※                       |
| 開設時期         | 2029年度                                   |
| イニシャル<br>コスト | こども未来館の整備費 約41億円（概算）※<br>＋α（ネウボラセンター整備費） |
| 施設<br>維持費    | こども未来館 約2.5億円（概算）※<br>＋α（ネウボラセンター維持費）    |
| 補助金等         | －                                        |
| 一般財源         | －                                        |
| 開設5年間<br>の経費 | －                                        |
| 整備する<br>フロア  | －                                        |

※地方創生調査特別委員会（令和6年9月）参考資料2

テーマ

# 行政の子育て相談・手続きがワンストップで行える他、こどもが施設の内外にあるプレイエリアで思いっきり体を動かし楽しむことができ、保護者も一息つけるような空間作りを行う

## コンセプト案③：幅広い年代のこどもとその保護者がのびのび楽しめる施設 【機能】

|    |                           |                                                                        |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----|---------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 機能 | 市役所<br>本庁舎に<br>残す機能       | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 子育てに関わる行政手続き全般 (A)</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ センター及びその周辺施設や公園等を含めまちづくり計画に位置付け、まちづくり拠点施設や大学等も含め、<u>世代間交流や地域ぐるみでの子育てを促進する観点も含めた検討を行うことがのぞましい</u>。【先進事例調査⑥】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|    | 新たに<br>設置する<br>機能<br>(青字) | 相談                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>あのね相談</b></li> <li>➤ <b>虐待・ひとり親に関する相談</b></li> <li>➤ <b>若者の相談</b></li> <li>➤ <b>教育相談 (不登校など)</b></li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>相談が解決に直結する機能をワンストップで提供</u>されることが求められている。(A)【ニーズ調査】</li> <li>➤ 併せて、利用可能な制度や仕組、施設、子育て関連のイベントなどの情報提供に係るニーズも大きい。</li> <li>➤ <u>小学校高学年以上のこどもたちの利用を促進</u>することを念頭に、<u>貸し出し可能なフリースペースor会議室を用意し、部活、サークル等で自由に利用可能にする</u>。加えて、<u>市内企業やNGO・NPOと連携し、中学生以上のこどもを対象としたさまざまなイベントを企画・運営し、こどもたちのニーズに沿った多様な「居場所」を提供する</u>。(B)</li> <li>➤ こどもが遊べる場所の整備、市内の現状を踏まえると、<u>天候に関わらず、こどもが遊べる全天候型の遊び場の整備</u>へのニーズは大きい。なお、整備する遊具は、先進事例におけるトレンドを踏まえ、<u>地産地消、「木育」を意識した木製のものが望ましい</u>。(C)【ニーズ調査】【先進事例調査⑪】</li> <li>➤ <u>施設の屋上、1階の庭等を有効活用し、小学生でも十分楽しめる大型遊具</u>に加え、幅広い年代の市民が様々な形態で利用可能な<u>芝生広場を設置</u>する。芝生広場では、<u>こどもたちが体を動かしたり、音楽を演奏したり</u>、また、不定期でフリーマーケットを開催するなどのイベントを開催する。(D)</li> <li>➤ 外の遊具・広場でこどもを遊ばせながら、<u>他のこどもの親と交流するためのオープンスペース、もしくは、体と心に優しいカフェを設置</u>することで、こどもとその保護者、さらには子育て中の世帯を超え、幅広い年代の地域の方も利用できる施設となる。(E)</li> </ul> |
|    |                           | 手続き                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>母子健康手帳の交付</b></li> </ul>                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|    |                           | 居場所                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>若者の居場所創出のための多目的スペース (部活、サークル等で借りることができるフリースペース) (B)</b></li> </ul>                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|    |                           | プレイエリア                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>木を基調とした乳児・幼児向けのプレイエリア (C)</b></li> <li>➤ <b>幼児～児童を対象とした屋内木製遊具、大型遊具 (C)</b></li> <li>➤ <b>幼児～児童を対象と屋外遊具および芝生公園 (D)</b></li> </ul>                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|    |                           | その他                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>保護者の語らいの場 (カフェ、芝生公園) (E)</b></li> <li>➤ <b>フリースペース (E)</b></li> <li>➤ <b>小ホール</b></li> <li>➤ <b>会議室</b></li> <li>➤ <b>多目的スペース</b></li> <li>➤ <b>工作室</b></li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

新たな施設に盛り込むべき機能を十分に盛り込める可能性があるものの、整備費用が大きく、開設までに時間を要するなどのデメリットもあり、コスト面での丁寧な検討が必要であると考えられる

### コンセプト案③：幅広い年代のこどもとその保護者がのびのび楽しめる施設 【調査結果】

|          |       |     |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------|-------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査<br>結果 | メリット  | 市   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>必要な機能をすべて整備することができる</u></li> <li>➢ まちづくりの一環としての整備であれば、国土交通省の補助金を活用可能（補助金率1/2）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ これから計画を練り、設計を行う施設であることから、<u>行政にとっては、必要な機能をすべて整備することができる可能性が高いことが最も大きなメリット</u>であると考えられる。また、整備のコンセプトによっては、整備費用の一部について、補助金を活用することも可能。</li> <li>➢ 保護者にとって、ニーズ調査結果を踏まえると、子育てに係る手続きのワンストップ化のニーズは大きく、<u>すべての手続きが完了することは、利便性向上につながるもの</u>と考えられる。</li> <li>➢ こどもにとっては、施設の中と外に<u>天候に関わらず思いっきり遊べる場所があることは非常にうれしいこと</u>であると考えられる。少し年代の高いこどもたちにとっては、芝生広場等でサッカーやキャッチボールなど、体を思いっきり動かすことができることもメリットになる。</li> <li>➢ 実証実験中の自動バスによる庁舎の連動。</li> </ul> |
|          |       | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>こどもに係る必要な相談を1か所で完結</u>できる</li> <li>➢ 駐輪場、駐車場を併設</li> </ul>                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|          |       | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 体を思う存分動かして、外でも中でも遊ぶことができる</li> <li>➢ 赤ちゃんから高校生・大学生まで、<u>幅広い年代がそれぞれが楽しめる要素</u>がある</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|          | デメリット | 市   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>整備費用が大きい</u></li> <li>➢ <u>開設までに時間がかかる</u></li> <li>➢ <u>本庁舎と距離がある</u></li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>整備費用が大きく、開設までに時間がかかることが最大のデメリットである</u>と考えられる。</li> <li>➢ <u>本庁舎との物理的な距離が生じることで、別部署との連携という点において、行政にとってのデメリットとして働く可能性</u>がある。</li> <li>➢ 保護者とこどもにとっても、活用できるようになるまでに時間がかかる点がデメリットとして働く可能性がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                          |
|          |       | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 活用できるようになるまで時間がかかる</li> </ul>                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|          |       | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 活用できるようになるまで時間がかかる</li> </ul>                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

小さな子どもとその保護者を主な対象とした、物理的にも身近にある支所に、天候に関わらず楽しく遊べる空間と、子育てに係るワンストップ相談窓口を併せ持つ、「身近で便利なまちの憩いの場」を設置することが想定される

コンセプト案④：身近な支所を活用した施設 【テーマと基礎情報】

テーマ

"子どもとその家族が気軽に寄れる、  
身近で便利なまちの憩いの場"

【イメージ①：温かみのある木の遊具、親子の休憩スペース】



出所：京都市西京区ホームページ「親子のあそびば「らくさいきのひろば」」

【イメージ②：絵本スペース】



出所：横浜市ホームページ「地区センターのプレイルームへ遊びに行こう！」

|          |              |                                  |
|----------|--------------|----------------------------------|
| 基礎<br>情報 | 候補地          | 支所（松永、北部、東部、神辺）                  |
|          | 整備方法         | 改装                               |
|          | 規模           | －                                |
|          | 開設時期         | 2025年度～                          |
|          | イニシャル<br>コスト | 150万円（概算）×4支所                    |
|          | 施設<br>維持費    | （新たな維持費は発生しない想定）<br>清拭等の管理は必要となる |
|          | 補助金等         | －                                |
|          | 一般財源         | －                                |
|          | 開設5年間<br>の経費 | －                                |
|          | 整備する<br>フロア  | 支所内の既存の部屋を調整して活用                 |

支所内に小さな子どもと保護者の居場所を確保することで、地域内の保護者の交流を生み出すとともに、育児に関する悩みを相談する機会を提供できることから、本庁舎で現在提供している機能と同等のサポートが可能であると考えられる

## コンセプト案④：身近な支所を活用した施設 【機能】

|    |                           |        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----|---------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 機能 | 市役所<br>本庁舎に<br>残す機能       | (なし)   | ➤ 4拠点支所（松永、北部、東部、神辺）においては、既に、住所や戸籍の異動を含む手続きが可能な市民サービス課に加え、「あのね」が設置されており、子育てに係る手続きがワンストップで完了する。                                                                                                                                                         |
|    | 新たに<br>設置する<br>機能<br>(青字) | 相談     | ➤ あのね相談<br>➤ 虐待・ひとり親に関する相談<br>➤ 若者の相談<br>➤ 教育相談（不登校など）                                                                                                                                                                                                 |
|    |                           | 手続き    | ➤ 母子健康手帳の交付<br>➤ 保育施設（保育所・認定こども園等）・放課後児童クラブの利用申込                                                                                                                                                                                                       |
|    |                           | 居場所    | ➤ <b>コミュニティスペース</b> （A）                                                                                                                                                                                                                                |
|    |                           | プレイエリア | ➤ <b>室内遊具のある乳児・幼児向けのプレイエリア（拡充）</b> （B）<br>➤ <b>絵本</b> （B）                                                                                                                                                                                              |
|    |                           | その他    | ➤ 会議室<br>➤ 多目的室                                                                                                                                                                                                                                        |
|    |                           |        | ➤ <b>相談が解決に直結する機能をワンストップで提供</b> されることが求められている。【ニーズ調査】<br>➤ 併せて、利用可能な制度や仕組、施設、子育て関連のイベントなどの情報提供に係るニーズも大きい。【ニーズ調査】                                                                                                                                       |
|    |                           |        | ➤ 親同士が交流できる機会の提供に係るニーズは非常に大きい。西京区の例のように、 <b>こどものプレイエリアがそのまま保護者の憩いのスペースにもなるような、「コミュニティスペース」の構築は有効</b> であると考えられる。（A）【ニーズ調査】<br>➤ 遊具、中でも悪天候でも利用できる室内プレイエリアの設置に係るニーズは非常に大きい。既存の「遊戯室」の備品を一部刷新する、または改装を行うことで、 <b>乳児向・幼児向けのプレイエリアを拡充</b> することが望ましい。（B）【ニーズ調査】 |

# 小さな子供を遊ばせながら、こども・子育てに必要な相談や手続きがワンストップでできることは親にとってもこどもにとっても、非常に大きなメリットであると考えられる

## コンセプト案④：身近な支所を活用した施設 【調査結果】

|          |       |     |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------|-------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査<br>結果 | メリット  | 市   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 既存施設を活用することで、大幅な改修を見込まずとも、<u>早期に整備・開設が可能</u></li> <li>➢ 既存施設で実質遊休状態となっていた施設の新たな活用が可能（アセットの活用）</li> <li>➢ 施設の維持費は原則、施設側で負担</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 行政にとって、既存の施設を活用することで、<u>新設に比べると、わずかな整備費用と工期で、整備・開設が可能</u>であることが最も大きなメリットである。</li> <li>➢ 親にとっては、<u>本庁舎に行かずとも、こども・子育てに係る必要な相談・手続きが完結することは非常に利便性が高い</u>と考えられる。また、役所にこどもを連れて来ざるを得ない場合においても、<u>木のぬくもりの伝わるあたたかい遊具で、適宜こどもを遊ばせながら</u>、本庁舎よりは短い時間で手続きを行うことができるものと想定される。</li> <li>➢ 地域内にある子育て支援団体との連携によるキッズスペースの運営が見込まれる。</li> <li>➢ 身近な保護者との交流により、孤独な育児の防止が見込める。</li> </ul> |
|          |       | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ こども・子育てに係る必要な相談や<u>手続きを1か所で完結</u>できる</li> <li>➢ 同じ地域内の保護者との交流が見込める</li> <li>➢ <u>身近な場所</u>にあるため、利便性が高い</li> <li>➢ 駐輪場、駐車場が併設されている</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|          |       | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 家の近くに、雨が降ってもいつでも遊べる場所がある</li> </ul>                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|          | デメリット | 市   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>利用にあたり、修繕等の整備費用がかかる</u></li> </ul>                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 施設の規模が小さいことから、実施できる内容に限りが出ることはデメリットである。</li> <li>➢ こどもの遊び場になるエリアを大規模に増改築することは困難であることから、ある程度大きいこどもたちにとっては、退屈な遊び場になる可能性がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                               |
|          |       | 親   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ （なし）</li> </ul>                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|          |       | こども | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 主に乳幼児の遊び場を想定しているため、<u>それ以上のこどもにとっては退屈</u>になる可能性もある</li> </ul>                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

## 4. 今後の展望

4つの案のいずれについても、メリット・デメリットがあるが、えほんの国等の施設が既にあり、これらを活用しながら早期にオープンが可能である案①が望ましい。  
また、市内各所の支所を活用し、全地域でのこども・子育て支援のための機能拡充が可能な案④を組み合わせることで効果が高まるものと考えられる。

|                        | 案①                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 案②                                                                                                                                                                                                                                                                              | 案③                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 案④                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンセプト                  | 駅前アクセスしやすい百貨店                                                                                                                                                                                                                                                                              | 様々な人が集まる複合機能を有効活用した施設                                                                                                                                                                                                                                                           | 幅広い年代のこどもとその保護者がのびのび楽しめる施設                                                                                                                                                                                                                                                                          | 身近な支所を活用した施設                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 設置候補地                  | 天満屋（改装）                                                                                                                                                                                                                                                                                    | エフピコRIM（改装）                                                                                                                                                                                                                                                                     | 建設予定のこども未来館（新設）                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 拠点4支所（改装）                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 特徴的な機能<br>※青字は新設の機能・要素 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 遊び場機能（子育て応援センター、えほんの国、プレイルーム+ <b>屋内遊具の拡充</b>）</li> <li>✓ 市内全域の保護者同士、こども同士の<b>交流およびSNSなどを活用した情報発信の拡充</b>（オンラインおしゃべり広場、あのねオンライン相談）</li> <li>✓ <b>若者の居場所</b></li> <li>✓ 相談機能（ネウボラ相談窓口「あのね」、<b>若者を対象とした相談、手続機能の拡充</b>）<br/>※一部DXを活用</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>施設の入居企業や地域の団体等とコラボレーションした交流機能</b></li> <li>✓ <b>市内全域の保護者同士、こども同士の交流機能およびSNSなどを活用した情報発信機能</b></li> <li>✓ <b>既存施設（会議室など）を活用した若者の居場所の創出</b></li> </ul>                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>大型遊具のある遊び場機能（屋内・屋外）</b></li> <li>✓ <b>市内全域の保護者同士、こども同士の交流機能およびSNSなどを活用した情報発信機能</b></li> <li>✓ <b>若者の居場所</b></li> <li>✓ <b>相談機能（手続きの受付を含む）</b><br/>※一部DXを活用</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>プレイルーム（主に乳幼児を対象とした屋内遊び場機能の拡充</b><br/>※玩具、絵本等の設置を含む）</li> <li>✓ <b>主に乳幼児の保護者・こども同士を対象とした交流機能の拡充</b></li> <li>✓ <b>ワンストップでの相談・手続き機能</b><br/>※一部DXを活用</li> </ul>                                                                                         |
| 主なメリット・デメリット           | <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内中心部に位置し、市内の様々なエリアからアクセスしやすい</li> <li>✓ 既存の施設を改装することで<b>早期にオープンが可能</b></li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 百貨店の中にあることで、特に相談等では敷居を高く感じてしまう可能性がある</li> <li>✓ 施設の仕様によって追加できる機能に制限が生じる可能性がある</li> </ul> | <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内中心部に位置し、市内の様々なエリアからアクセスしやすい</li> <li>✓ <b>既に入居している企業との連携や施設が保有する設備・機能を活用可能</b></li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 設置費用が高額になる</li> <li>✓ <b>建設工事等のため、オープンまで一定の準備期間が必要になる</b></li> </ul> | <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新設であることから、施設の仕様についても比較的柔軟に検討可能であるため、<b>必要な機能をすべて盛り込める</b></li> <li>✓ 新設であるため、場所に対する先入観・イメージの影響を受けづらい</li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 設置費用が高額になる</li> <li>✓ <b>建設工事等のため、オープンまで一定の準備期間が必要になる</b></li> </ul> | <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 既存施設・機能を有効に活用することができ、<b>比較的低予算での整備が可能</b></li> <li>✓ 地域の身近な施設であるため、<b>保護者・こどももアクセスしやすい</b></li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 施設の内容、規模から主な利用対象が乳幼児・保護者に制限される</li> <li>✓ 施設の仕様等によって追加できる機能に制限がある</li> </ul> |